

(受学管 8 - 4)

西宇治中学校施設長寿命化改修工事 (その 4)

建 築		電 気		電 気	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A - 01	表紙・図面リスト	E - 01	電気設備工事特記仕様書-1	E - 31	普通教室棟 1 - 2 教室 展開図 3 (改修前)
02	建築改修工事特記仕様書 (1)	02	電気設備工事特記仕様書-2	32	普通教室棟 1 - 1 教室 展開図 4 (改修前)
03	建築改修工事特記仕様書 (2)	03	電気設備工事 配置図	33	普通教室棟 学習室 1 教室 展開図 5 (改修前)
04	建築改修工事特記仕様書 (3)	04	普通教室棟 (凡例)	34	普通教室棟 女子更衣室教室 展開図 6 (改修前)
05	建築改修工事特記仕様書 (4)	05	弱電設備系統図	35	普通教室棟 学習室 2 教室 展開図 1 (改修後)
06	建築改修工事特記仕様書 (5)	06	普通教室棟 3・R階平面図 (電灯設備改修前)	36	普通教室棟 1 - 3 教室 展開図 2 (改修後)
07	建築改修工事特記仕様書 (6)	07	普通教室棟 3・R階平面図 (コンセント設備改修前)	37	普通教室棟 1 - 2 教室 展開図 3 (改修後)
08	アスベスト対策工事特記仕様書	08	普通教室棟 3・R階平面図 (弱電設備改修前)	38	普通教室棟 1 - 1 教室 展開図 4 (改修後)
09	付近見取図	09	普通教室棟 3・R階平面図 (緊急通報設備改修前)	39	普通教室棟 学習室 1 教室 展開図 5 (改修後)
10	配置図	10	普通教室棟 3・R階平面図 (アクセスポイント改修前)	40	普通教室棟 女子更衣室教室 展開図 6 (改修後)
11	普通教室棟 1・2 階平面図	11	普通教室棟 3・R階平面図 (電灯設備改修後)	41	普通教室棟 南・西立面図 (改修前)
12	普通教室棟 3・R 階平面図、屋根伏図	12	普通教室棟 3・R階平面図 (電灯設備改修後)	42	普通教室棟 北・東立面図 (改修前)
13	普通教室棟 北・東立面図	13	普通教室棟 3・R階平面図 (弱電設備改修後)	43	普通教室棟 南・西立面図 (改修後)
14	普通教室棟 南・西立面図	14	普通教室棟 3・R階平面図 (緊急通報設備改修後)	44	普通教室棟 北・東立面図 (改修後)
15	普通教室棟 矩計図	15	普通教室棟 3・R階平面図 (アクセスポイント改修後)	45	渡り廊下 平面図・屋根伏図
16	普通教室棟 普通教室 展開図 (撤去)	16	自動火災報知設備系統図		
17	普通教室棟 普通教室 展開図 (改修)	17	防火扉自動閉鎖設備系統図		
18	普通教室棟 建具リスト (撤去・改修)	18	自火報・防火設備 普通教室棟 1・2階平面図 (参考図)		
19	普通教室棟 屋上防水詳細図 (撤去)	19	自火報・防火設備 普通教室棟 3・R階平面図 (改修前)		
20	普通教室棟 屋上防水詳細図 (改修)	20	自火報・防火設備 普通教室棟 3・R階平面図 (改修後)		
21	普通教室棟 部分詳細図 (1)	21	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 1階平面図 (現況・改修)	M-	01 機械設備工事特記仕様書-1
22	普通教室棟 部分詳細図 (2)	22	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 2階平面図 (現況・改修)	02	機械設備工事特記仕様書-2
23	渡り廊下 平面図・屋根伏図	23	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 3階平面図 (参考図)		
24	渡り廊下 立面図	24	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 4階平面図 (参考図)		
25	渡り廊下 矩計図	25	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 5階平面図 (参考図)		
26	仮設計画図 (参考図)	26	自火報・防火設備 管理・特別教室棟 屋根伏図 (参考図)		
		27	自火報・防火設備 屋内運動場 (参考図)		
		28	仕様書 受信機 (姿図)		
		29	普通教室棟 学習室 2 教室 展開図 1 (改修前)		
		30	普通教室棟 1 - 3 教室 展開図 2 (改修前)		

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
1					
2					
3					

4. その他
上記建築工事に係る電気設備及び機械設備工事

【2】 適用範囲

現場説明書(質疑回答を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版)をいう。(以下、これを「改修標準」という。)

本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

1,設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標準」のほか別記の適用基準による。
2,項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
3,特記事項は、印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。
印と 印の付いた場合は、共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。
4,項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目	特 記 事 項
1	<p>1 適用基準等</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 平成28年版 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 令和元年版 (監修:国土交通省) 建築構造設計基準及び参考資料 平成30年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年版 (監修:国土交通省) 公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成31年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成31年版 (監修:国土交通省)</p> <p style="font-size: small;">注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す</p> <p>2 建築材料等</p> <p>本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとする事ができる。(評価名簿によるもの)</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレート(フットプレート)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(アレイク形、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル、既製調合モルタル(タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材(排水用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シラガ錠錠、レバー錠錠、シラガ本錠り錠)、クローザー類(ドアクローザー、ピンクローザー、フリップ)、自動扉機構(制御装置・駆動装置・検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オールヘッドア、ガラス(ガラス板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック(中空)、防水剤、現場発泡断熱材、ポリウレタン(3000N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切(スライディングドア)、トイレバス、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鑄鉄製ふた(マンホールふた・弁拵ふた)</p>

章 項 目	特 記 事 項	特 記 事 項																
3	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																
1	4 風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(Vo) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり																
5	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																
6	工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週()曜日提出する。																
7	工事実績情報の登録(1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による) 適用しない																
8	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																
9	施工図等の取扱い(1.2.3)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡される。																
10	工事写真(1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 下記のことを監督職員に提出する。																
11	電気保安技術者(1.3.3)	適用する																
12	施工条件(1.3.5)	現場説明書による																
13	発生材の処理等(1.3.12)	引渡しを要するもの () 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの () 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分 () 自由処分 (最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 () 特別管理産業廃棄物																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>廃石綿等</td><td></td></tr> <tr><td>P C Bを含む機器類</td><td></td></tr> <tr><td>P C B含有シーリング</td><td></td></tr> <tr><td>廃油</td><td></td></tr> <tr><td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td><td></td></tr> <tr><td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td><td></td></tr> <tr><td>S F 6ガス使用機器</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>廃石綿の処分地 (東京都環境保全公社瑞穂センター)</p> <p>せっこうボードの処理方法 石綿含有せっこうボードの処理 改修標準9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせっこうボードの処理 最終処分 再資源化</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器	
種 類	処 理 方 法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		

章 項 目	特 記 事 項	特 記 事 項																																								
1	一般共通事項	<p>P C B含有シーリング材の分析調査 行う (箇所) 行わない P C B含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手</p> <p>処理計画書等の提出 再生資源利用促進計画書、実施書を「CREPAS入力システム」により作成し、提出用ファイルと共に提出すること。 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書 を提出すること。 マニフェスト制度 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p> <p>既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>仮設工事</td><td>とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋組立作業</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>左官作業 型枠工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>構造物鉄工作业 とび作業</td></tr> <tr><td>ブロック及びALCA補工事</td><td>コンクリートブロック工作業 ALCA補工作業</td></tr> <tr><td>カーポート工事</td><td>金属製カーポート施工作業 びり用材施工作業</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外タコム系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アスファルト工法防水工作業</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>石張り作業</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木工事</td><td>大工工作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとい工事</td><td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>鋼製下地工作業 内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>左官作業</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>建築塗装作業</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>びり用材施工作業 自動ドア施工作業 ガラス工作業</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>アクリル系床仕上げ工作業 床仕上げ工作業 カーペット系床仕上げ工作業 壁装作業</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>建築配管作業</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>溶融塩化カルシウム系舗装工作業 加熱塩化カルシウム系舗装工作業</td></tr> <tr><td>植栽工事</td><td>造園工作業</td></tr> </tbody> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コンクリートブロック工作業 ALCA補工作業	カーポート工事	金属製カーポート施工作業 びり用材施工作業	防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外タコム系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アスファルト工法防水工作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業	金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	びり用材施工作業 自動ドア施工作業 ガラス工作業	内装工事	アクリル系床仕上げ工作業 床仕上げ工作業 カーペット系床仕上げ工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融塩化カルシウム系舗装工作業 加熱塩化カルシウム系舗装工作業	植栽工事	造園工作業
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																									
仮設工事	とび作業																																									
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																									
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																									
ブロック及びALCA補工事	コンクリートブロック工作業 ALCA補工作業																																									
カーポート工事	金属製カーポート施工作業 びり用材施工作業																																									
防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外タコム系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アスファルト工法防水工作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業																																									
金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	びり用材施工作業 自動ドア施工作業 ガラス工作業																																									
内装工事	アクリル系床仕上げ工作業 床仕上げ工作業 カーペット系床仕上げ工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融塩化カルシウム系舗装工作業 加熱塩化カルシウム系舗装工作業																																									
植栽工事	造園工作業																																									
14	調査のための破壊部分の補修(1.5.3)																																									
15	技能士(1.6.2)																																									
16	施工の検査等(1.6.5)	見本施工の実施 適用する() 適用しない																																								
17	化学物質の濃度測定(1.6.9)	適用する(適用事項は、現場説明書による)																																								
18	完成図(1.8.2)	作成する(提出部数 2部 部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																																								
19	保全に関する資料(1.8.3)	作成する(提出部数 2部 部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 ○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																																								

章 項 目	特 記 事 項	特 記 事 項																
1	足場その他(2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所面に柱組足場を設ける。 施行箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所面に単管本足場を設ける。 仮設コンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)																
2	仮設工事	足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。																
2	既存部分の養生(2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート) 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う(図示) 行わない																
3	仮設間仕切り(2.3.2)	設ける(図示)																
4	監督職員事務所(2.4.1)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>せっこうボード 種類 GB-R</td> <td>なし 片面</td> <td>グラスウール 24kg/m³</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>厚さ mm 9.5mm 合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設けない</p> <p>規模 10m²程度 20m²程度 35m²程度 65m²程度 100m²程度 仕上 床 合板張り素地 びり床シート敷き びり床シート敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土合板塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り調合びり塗り 休憩室 設けない 設ける(敷敷き) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類収納 (上記6品、 人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標準(平成31年版) 建築改修工事監理指針(令和元年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(平成28年版)</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³	B種	厚さ mm 9.5mm 合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm		厚さ 50mm	C種	全面シート張り		
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填															
A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³															
B種	厚さ mm 9.5mm 合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm		厚さ 50mm															
C種	全面シート張り																	
5	工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)																
6	工事用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)																
7	仮囲い等	図示による																
8	設計G L	図示による 設計G L = 現状G L																

項目	特記事項																																																								
4	<p>外壁改修工事</p> <p>複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>複層塗材 C E</td> <td>凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 S i</td> <td>凹凸状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 R E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可とう形複層塗材 C E</td> <td>凸部処理 凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水形複層塗材 C E</td> <td>凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水形複層塗材 E</td> <td>凹凸状 (増塗材)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水形複層塗材 R E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>可とう形改修塗材 E</td> <td>平たん状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可とう形改修塗材 R E</td> <td>さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可とう形改修塗材 C E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 なし</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法 : _____ 製造所 : _____) 行わない</p> <p>仕上塗材の耐水性 耐腐形3種 _____</p> <p>仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 弱溶剤系 溶剤系 樹脂 アクリル系 _____ 外観 つや有 つやなし メタリック</p> <p>既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3) (4.6.4)</p> <p>既存塗膜の除去方法 試験施工実施</p> <p>サンダー工法</p> <p>高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 30Mpa _____)</p> <p>塗膜はく離剤工法 (製造所: _____)</p> <p>水洗い工法 (デッキブラ 高圧ノズル 10~15pa)</p> <p>既存塗膜の除去範囲</p> <p>既存仕上げ面全体 既存壁面の (_____ %) 別図に示す範囲</p> <p>下地処理 下地のひび割れ部等の補修 図示による</p> <p>下地調整材 セメント系下地調整材 (JIS A 6916) ポリマーセメントモルタル 防水形仕上塗材主材 (JIS A 6910 (複層仕上塗材))</p> <p>15 マスチック塗材塗り (4.7.2)</p> <p>16 部分改修工法 (4.6.6)</p> <p>仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材</p> <p>施工箇所 別図に示す範囲</p> <p>17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.2.2) (4.8.2)</p> <p>外壁用塗膜防水塗り</p> <p>仕上げの形状 _____ 工法 _____</p> <p>外壁用仕上げ塗材の耐水性 JIS A 6909の耐水性 種相当 _____</p> <p>地下挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない</p> <p>吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p> <p>外壁用仕上げ塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p>	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考	複層塗材 C E	凸部処理	吹付け		複層塗材 S i	凹凸状			複層塗材 E				複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラー		可とう形複層塗材 C E	凸部処理 凹凸状	吹付け			ゆず肌状	ローラー		防水形複層塗材 C E	凸部処理	吹付け		防水形複層塗材 E	凹凸状 (増塗材)			防水形複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラー		種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考	可とう形改修塗材 E	平たん状	ローラー		可とう形改修塗材 R E	さざ波状	ローラー		可とう形改修塗材 C E	ゆず肌状	吹付け	
種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考																																																						
複層塗材 C E	凸部処理	吹付け																																																							
複層塗材 S i	凹凸状																																																								
複層塗材 E																																																									
複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラー																																																							
可とう形複層塗材 C E	凸部処理 凹凸状	吹付け																																																							
	ゆず肌状	ローラー																																																							
防水形複層塗材 C E	凸部処理	吹付け																																																							
防水形複層塗材 E	凹凸状 (増塗材)																																																								
防水形複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラー																																																							
種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考																																																						
可とう形改修塗材 E	平たん状	ローラー																																																							
可とう形改修塗材 R E	さざ波状	ローラー																																																							
可とう形改修塗材 C E	ゆず肌状	吹付け																																																							

5	<p>建具改修工事</p> <p>1 性能 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p> <p>2 施工数量調査 (1.5.2) 行う(建具金物 ガラス ガラス止め材 _____) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない</p> <p>3 改修工法 (5.1.3) 既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による _____ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による _____</p> <p>4 防火戸 (5.1.4) 図示による _____ ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 連動させる (建具表による _____) 連動させない</p> <p>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6) 建具見本の製作 行う (建具番号 _____) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号 _____) ブラインドボックス等の再使用 (_____)</p> <p>6 防犯建物部品 (5.1.7) 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____)</p>
---	--

項目	特記事項																																																										
5	<p>7 アルミニウム製建具 (5.2.2) ~ (5.2.5)</p> <p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="2">A - 3</td> <td>A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td colspan="2">W - 4</td> <td>W - 5</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>図示 7 0</td> <td>1 0 0</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>B B - 1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B B - 2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 _____) 結露水の処理方法 図示による _____ 水切り、ぜん板等 図示による _____ 出入口のくつずりにステンレスを使用する場合は図示による。</p> <p>8 網戸等 (5.2.3)</p> <p>防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16~18メッシュ _____ 防鳥網 設置する</p> <p>9 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.4)</p> <p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="2">A - 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-4 H-5 H-6)</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス _____ 表面色 標準色 特注色</p> <p>10 鋼製建具 (5.4.2) ~ (5.4.4)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 _____) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm 鋼製軽量建具 (5.5.2) ~ (5.5.4) 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 _____) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板</p> <p>12 ステンレス製建具 (5.6.2) ~ (5.6.5)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ H L 鏡面 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3		A - 4	水密性	W - 4		W - 5	枠見込み(mm)	図示 7 0	1 0 0	図示	種別	色	施工箇所	B B - 1種	標準 特注	図示による	B B - 2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		枠見込み(mm)	図示		
性能等級	A種	B種	C種																																																								
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																								
気密性	A - 3		A - 4																																																								
水密性	W - 4		W - 5																																																								
枠見込み(mm)	図示 7 0	1 0 0	図示																																																								
種別	色	施工箇所																																																									
B B - 1種	標準 特注	図示による																																																									
B B - 2種	標準 特注	図示による																																																									
	標準 特注																																																										
	標準 特注																																																										
	標準 特注																																																										
性能等級	A種	B種	C種																																																								
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																								
気密性	A - 4																																																										
水密性	W - 4	W - 5																																																									
枠見込み(mm)	図示																																																										

項目	特記事項																																																																																																											
5	<p>建具用金物 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具用金物</p> <p>マスターキーの製作 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 3本1組 _____ (表5.7.1)</p> <p>開き戸</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー箱錠</td> <td>握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー-カー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>バールドール: 亜鉛合金, (ステンレス)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス, (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒポットヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス, (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス, (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ-クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延開閉機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ-クローザー (ヒポット型)</td> <td>加へ部: ステンレス, (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 7-4部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>ステンレス, (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-4ストッパ</td> <td>鋼 (加へめっき), (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table> <p>引戸 (表5.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>引戸用錠</td> <td></td> <td>木製建具の場合: シリンダー-カー等はステンレス 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>クレセント</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td>(_____)</td> </tr> <tr> <td>引手類</td> <td></td> <td>木製建具の場合: ステンレス (黄銅)</td> </tr> <tr> <td>戸車 (上吊りの場合を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール (上吊りの場合を除く)</td> <td>ステンレス, (7%ニッケル合金 黄銅)</td> <td>黄銅は木製建具用のみ</td> </tr> </table> <p>金属製建具用丁番 表 5.7.2による _____ 樹脂製建具用丁番 表 5.7.3による _____</p> <p>14 自動ドア開閉装置 (5.8.2) ~ (5.8.3)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能</p> <p>引き戸用駆動装置性能値 改修標準 表5.8.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置性能値 改修標準 表5.8.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>引き戸用検出装置性能値 改修標準 表5.8.3による</p> <table border="1"> <tr> <th>放射無線周波数電磁界耐性</th> <th>耐電圧</th> <th>防錆</th> <th>防滴</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 建具表による _____ 引き戸検出装置の種類 表 5.8.4 (_____)による 建具表による 凍結防止措置 行う</p>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー箱錠	握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	本締り錠	シリンダー-カー: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____)	グレモン錠	バールドール: 亜鉛合金, (ステンレス)	取付位置 (_____)	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度, (ステンレス)		丁番	ステンレス, (黄銅)		ヒポットヒンジ	加へ部: ステンレス, (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加へ部: ステンレス, (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ-クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延開閉機能付き	ヒンジ-クローザー (ヒポット型)	加へ部: ステンレス, (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-4部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)		押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 (_____)	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度, (ステンレス)		7-4ストッパ	鋼 (加へめっき), (ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)	あおり止め付き	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー-カー等はステンレス 取付位置 (_____)	クレセント	建具製作所の仕様による。	(_____)	引手類		木製建具の場合: ステンレス (黄銅)	戸車 (上吊りの場合を除く)			レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス, (7%ニッケル合金 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源							耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源						放射無線周波数電磁界耐性	耐電圧	防錆	防滴	電源					
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																										
シリンダー箱錠	握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																										
本締り錠	シリンダー-カー: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																										
空錠	握り玉: ステンレス バールドール: 7%ニッケル合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____)																																																																																																										
グレモン錠	バールドール: 亜鉛合金, (ステンレス)	取付位置 (_____)																																																																																																										
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																											
点検口錠	亜鉛合金程度, (ステンレス)																																																																																																											
丁番	ステンレス, (黄銅)																																																																																																											
ヒポットヒンジ	加へ部: ステンレス, (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																										
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																										
フロアヒンジ	加へ部: ステンレス, (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																										
ヒンジ-クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延開閉機能付き																																																																																																										
ヒンジ-クローザー (ヒポット型)	加へ部: ステンレス, (本体は鋼)																																																																																																											
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-4部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																											
閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)																																																																																																											
押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 (_____)																																																																																																										
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度, (ステンレス)																																																																																																											
7-4ストッパ	鋼 (加へめっき), (ステンレス)																																																																																																											
戸当り	亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)	あおり止め付き																																																																																																										
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																										
引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー-カー等はステンレス 取付位置 (_____)																																																																																																										
クレセント	建具製作所の仕様による。	(_____)																																																																																																										
引手類		木製建具の場合: ステンレス (黄銅)																																																																																																										
戸車 (上吊りの場合を除く)																																																																																																												
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス, (7%ニッケル合金 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ																																																																																																										
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																							
耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																								
放射無線周波数電磁界耐性	耐電圧	防錆	防滴	電源																																																																																																								

項目	特記事項																																																															
5	<p>15 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)</p> <p>性能値等の区分 (表5.9.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用戸の総質量(kg)</th> <td>40以下</td> <td>40を超えるもの</td> </tr> <tr> <th>手動開き力(N)</th> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> <tr> <th>手動閉じ力(N)</th> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> </table> <p>性能等 品質・規格 _____</p> <p>16 重量シャッター (5.10.2) ~ (5.10.4)</p> <p>種類 管理用シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 (_____) 外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 (_____) 屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける) 開閉方式 上部電動式 (手動併用) 上部手動式 電動式シャッターには保護装置を設ける 設置箇所 図示による _____ スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table> <p>17 軽量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>開閉方式 上部電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには保護装置を設ける 設置箇所 図示による _____ 耐風圧強度 _____ スラット</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロッキング形 オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>A290を満足するもの</td> </tr> </table> <p>18 オーバーヘッドドア (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧性能 _____</p> <p>開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには保護装置を設ける 設置箇所 図示による _____ 収納形式 スタンド形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形</p> <p>ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>ガラス (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種類等</th> <th>種別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>7-0t板ガラス</td> <td></td> <td>強化ガラス</td> <td>t = 4mm ・ t = 3mm</td> </tr> <tr> <td>型板ガラス</td> <td>t = 4mm ・ t = 3mm</td> <td>熱線吸収ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td></td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td></td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td></td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具 鋼製建具</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う (_____)</p>	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	材質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの	材質	めっきの付着量	形状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形	JIS G 3322	A290を満足するもの	種別	種類等	種別	種類等	7-0t板ガラス		強化ガラス	t = 4mm ・ t = 3mm	型板ガラス	t = 4mm ・ t = 3mm	熱線吸収ガラス		網入板ガラス		複層ガラス		線入板ガラス		熱線反射ガラス		合わせガラス		倍強度ガラス		図示による				種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具 鋼製建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	ステンレス建具			
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの																																																														
手動開き力(N)	15以下	20以下																																																														
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																																																														
材質	めっきの付着量																																																															
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																																																															
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																																																															
材質	めっきの付着量	形状																																																														
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形																																																														
JIS G 3322	A290を満足するもの																																																															
種別	種類等	種別	種類等																																																													
7-0t板ガラス		強化ガラス	t = 4mm ・ t = 3mm																																																													
型板ガラス	t = 4mm ・ t = 3mm	熱線吸収ガラス																																																														
網入板ガラス		複層ガラス																																																														
線入板ガラス		熱線反射ガラス																																																														
合わせガラス		倍強度ガラス																																																														
図示による																																																																
種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																													
アルミニウム建具 鋼製建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																																																													
ステンレス建具																																																																

章	項	目	特	記	事	項
5	21	ガラス留め材 (5.13.2)	建具の種類	材	質	
		アルミニウム製	シーリング材(SR-1)	ガasket	グレイジングチャンネル	
5	21	ガラスブロック (5.13.5)	鋼製・軽量鋼製・ステンレス製	シーリング材(SR-1)	パテ 1種 2種	
		木製	パテ(木製用)			
5	22	木製建具 (16.7.2)	建具材の含水率の種別	A種	B種	C種
		公共建築工事標準仕様書(H31版)による。	可	不可		
6	23	ポリカーボネイト樹脂板	種類			
		厚さ	mm			

章	項	目	特	記	事	項
6	21	揮発性有機化合物対策 (6.5.2)~(6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、タイル、断熱材の接着に使用する	接着剤のホルムアルデヒド放散量	F	
		木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量	F			
6	22	他の部分との 取り合い等 (6.1.3)	既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲	壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。	図示による	範囲()仕上げ()
			天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲	壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。	図示による	範囲()仕上げ()
6	23		天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修	既存のまま	図示による	範囲()仕上げ()

1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/7500	1/10000
特	株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219208号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年 月										設計
記	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)										決

章	項	目	特	記	事	項
6	3	既存床の撤去等 (6.2.2)	種別	工法	施工箇所	
		ビニル床シート等	下地以外の除去	図示による		
6	4	既存壁の撤去等 (6.3.2)	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	
		フローリング張り床材				
6	5	木下地等 (6.5.1) ~(6.5.9)	床タイル			
		床組				
6	3		コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。			
			改修後の床の清掃範囲	改修機全面 改修室全面 改修部分のみ	図示による	
6	4		間仕切壁撤去に伴う構造体の補修	改修標仕4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)		
			表面仕上げの種別	適用箇所		
6	5		機械加工	A種 B種 C種		
			手加工	H-A種 H-B種 H-C種	内部造作 下地材	
6	6		含水率	下地材 A種(15%以下) 造作材 A種(15%以下)	B種(20%以下) B種(18%以下)	
			以下に規定されているものは、その規定による。 「製材の日本農林規格」による製材	下地用針葉樹製材		
6	7		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	8		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	9		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	10		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	11		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	12		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	13		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	14		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	15		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	16		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	17		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	18		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	19		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	20		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	21		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	22		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状
6	23		使用箇所	樹種	寸法	等級
						形状

章	項	目	特	記	事	項					
6	3		「集材材の日本農林規格」による造作用集成材	造作用集成材							
			使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質			
6	4		化粧ばり造作用集成材	使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質	
			化粧ばり構造用集成柱	使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面の品質		
6	5		「集材材の日本農林規格」による天然化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理		
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理			
6	6		「合板の日本農林規格」による天然化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理		
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理			
6	7		「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	
6	8		パーティクルボード	使用箇所	厚さ	各種区分					
			使用箇所	厚さ	各種区分						
6	9		構造用パネル	使用箇所	等級	厚さ					
			使用箇所	等級	厚さ						

1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/7500	1/10000
特	株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219208号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年 月										設計
記	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)										決

章	項	目	特	記	事	項						
6	3		「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材	造作用集成材								
			使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率					
6	4		化粧ばり造作用集成材	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率		
			化粧ばり構造用集成柱	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率		
6	5		「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	造作用単板積層材								
			使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理					
6	6		「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	造作用単板積層材								
			使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理					
6	7		C L T (直行集成板)	施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法(mm)		
			使用箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法(mm)			
6	8		合板等	普通合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接合程度	板面の品質	その他処理	
			使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接合程度	板面の品質	保存処理	その他処理		
6	9		構造用合板	使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接合程度	板面の品質	保存処理	その他処理
			使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接合程度	板面の品質	保存処理	その他処理	
6	10		「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板	使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接合程度	防虫処理			
			使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接合程度	防虫処理				
6	11		「合板の日本農林規格」による天然化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理			
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理				
6	12		「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理		
6	13		パーティクルボード	使用箇所	厚さ	各種区分						
			使用箇所	厚さ	各種区分							
6	14		構造用パネル	使用箇所	等級	厚さ						
			使用箇所	等級	厚さ							

章	項	目	特	記	事	項					
6	3		「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材	造作用集成材							
			使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質			
6	4		化粧ばり造作用集成材	使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質	
			化粧ばり構造用集成柱	使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面の品質		
6	5		「集材材の日本農林規格」による天然化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理		
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理			
6	6		「合板の日本農林規格」による天然化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理		
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	防虫処理			
6	7		「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板	使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			使用箇所	品名	厚さ	樹種	接合程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	
6	8		パーティクルボード	使用箇所	厚さ	各種区分					
			使用箇所	厚さ	各種区分						
6	9		構造用パネル	使用箇所	等級	厚さ					
			使用箇所	等級	厚さ						

1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/7500	1/10000
特	株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219208号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年 月										設計
記	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)										決

章	項	目	特	記	事	項			
6	3		M D F	使用箇所	厚さ	裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分
			造作材化粧面の釘打ち	隠し釘打ち	釘頭埋め木	つぶし頭釘打ち	釘頭現し		
6	4		諸金物の形状、寸法及び材質	かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.5から表6.5.7までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表6.20.1[鉄鋼の亜鉛めっきの種別]のF種程度の亜鉛めっきを施したものを					
			防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材	適用部位					
6	5		薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	適用部材	保存処理性能区分				
			適用部材	K 2	K 3	K 4			
6	6		薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			
			適用部材	改修標仕6.5.5(1)(b) ⑦-⑩による	JIS K 1571に適合又は同等品				
6	7		薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理	適用部材	適用部位				
			防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材	適用部位					
6	8		野縁等の種類	屋内	19型	25型			(表6.6.1)
			野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔	mm					
6	9		開口補強	吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法	図示による				
			天井のふところの補強	(1.5m以上3m以下)	行う				
6	10		野縁の間隔	mm					
			天井下地材における耐震性を考慮した補強	行う	行わない				
6	11		野縁の補強	有り	無し				
			既存の埋込みインサートの使用	再利用しない	再利用する				
6	12		あと施工アンカーの引抜き試験	行う(箇所以上、 箇所)					
			開口補強	吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法	図示による				
6	13		天井のふところの補強	(1.5m以上3m以下)	行う				
			天井下地材における耐震性を考慮した補強	行う	行わない				
6	14		屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強	行う	行わない				
			スタッド、ランナー等の種類	表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類					
6	15		スタッドの高さが5mを超える場合	図示による					
			天井のふところの補強	(1.5m以上3m以下)	行う				
6	16		野縁の間隔	mm					
			天井下地材における耐震性を考慮した補強	行う	行わない				
6	17		野縁の補強	有り	無し				
			既存の埋込みインサートの使用	再利用しない	再利用する				
6	18		あと施工アンカーの引抜き試験	行う(箇所以上、 箇所)					
			開口補強						

項目	特記事項
⑥ 内装改修工事	帯電防止床シート 帯電防止タイル 種 類 性 能 厚 さ (mm) 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下
	視覚障害者用床タイル 種 類 形 状 備 考 塩化ビニル系 3 0 0 mm角 レジンコンクリート系 1 5 0 mm角 磁器又はせっ器質タイル
	耐動荷重性床シート 種 類 厚 さ (mm) 備 考
	防汚性床シート 防汚性床タイル 種 類 寸 法 厚 さ (mm)
	ビニル幅木 種 類 高 さ (mm) 厚 さ (mm) 軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0
	ゴム床タイル張り 色 柄 種 類 厚 さ (mm) 寸 法 (mm) 単層品 積層品
	9 カーペット敷き (6.9.3) ~ (6.9.4) 織じゅうたん 種 別 織り方 バイル形状 帯電性 色柄 接合方法 施工箇所 A種 B種 C種 適用 無地 ヒートン工法
	タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 帯電性 施工箇所 グリッド工法 全面接着工法 適用
	ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 施工箇所 適用
	タイルカーペット 種別 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 一種 ループバイル 500×500 6.5 二種 タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き 階段部分 模様流し 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm 見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による
10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3) 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのペ工法 (平滑 防汚) 厚膜流しのペ工法 (平滑 防汚) 樹脂モルタル工法 (平滑 防汚) 薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材	
11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6) 単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6) 種 類 樹 種 厚さ(mm) 大きさ 工 法 備 考 フローリングボード1等 なら 15 表6.11.1 釘留め工法 12 12 表6.11.3 根太張り工法 8 表6.11.5 直張り工法 接着工法 フローリングボード1等 なら 8 接着工法 防水処理足金物付	

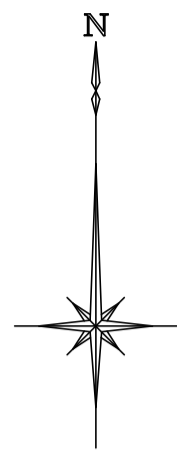
項目	特記事項
⑥ 内装改修工事	複合フローリング 種 類 樹 種 厚さ(mm) 工 法 種 別 備 考 1×6タイプフローリングボードタイプ なら 8 釘留め工法 15 根太張り工法 A種 B種 C種 直張り工法 接着工法
	接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
	仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形)B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り
	12 畳敷き (6.12.2) 種別 A種 B種 C種 D種(KT-)
	せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3) 種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1) 種 類 規 格 、 厚 さ (mm) 等 せっこうボード(GB-R) 12.5(不燃) 9.5(準不燃) 化粧せっこうボード(GB-D) 杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) 不燃積層せっこうボード(GB-NC) トラバーチン模様 9.5(不燃) シージングせっこうボード(GB-S) 15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃) 強化せっこうボード(GB-F) 21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃) ロックウール吸音ボード(RW-B) 25 グラスウール吸音ボード(GW-B) 25 吸音あなあきせっこうボード(GB-P) 9.5(準不燃) ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2(無石綿) 8.0 6.0 メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2 難燃木毛セメント板 30 25 20 15 断熱木毛セメント板 30 25 20 15 普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 板面の品質 防虫処理 行う 天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う 特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う その他下張り用合板
	軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 アクリル系シーリング ウレタン系シーリング ジョイントコンパウンド合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 縫目処理 突付け 目透かし
	14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3) 防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による 施 行 箇 所 防火性能 品 質 ・ 規 格
	15 天井廻り縁 材質 アルミニウム製 塩化ビニル製
	16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6) モルタル 現場調合材料 既調合材料() 既製目地材 適用する (形状) 床塗り 目地の種類 押目地 目地割り 2m程度 最大目地間隔 3m程度

項目	特記事項
⑦ 内装改修工事	17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4) 伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと 壁面 図示による 施工後の確認及び試験 全面打診による確認を行う 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない タイルの種類 施工箇所・形状・タイルの種類 寸法(mm) 生地 釉薬 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 工法 その他 磁器 陶器 無釉 有釉 無し 有釉 無し 標準 特注 磁器 陶器 無釉 有釉 無し 有釉 無し 標準 特注 磁器 陶器 無釉 有釉 無し 有釉 無し 標準 特注 タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼き 行わない 行う 既調合モルタル 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 18 セルフレベリング材塗り(6.17.2) 種類及び品質は表6.17.1による 種類 せっこう系 セメント系 厚さ(mm) 10 15 塗装材料 (7.1.3) 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7) 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F 塗替えで下地調整の種類がR8種の場合の既存塗膜の除去範囲 塗替え面積の30% 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7) 素 地 種 別 備 考 木部 R A種 R B種 R C種 鉄鋼面 O R A種 R B種 O R C種 亜鉛めっき鋼面 R A種 R B種 R C種 屋内運動場屋根 RA 柔剣道場屋根 RC モルタル及びプラスチック面 R A種 R B種 R C種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及びALCパネル面 R A種 R B種 R C種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び押出成形セメント面 R A種 R B種 R C種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない せっこうボード及びその他ボード面 R A種 R B種 R C種 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) 錆止め塗料の種類 (表7.3.1) ~ (表7.3.4) 塗面 種別 屋外 屋内 規格名称 塗料種類 塗装工程種別 備考 鉄 A種 鉛・カドミウムさび止め 1種 新規鉄鋼面 見え掛り部分 A種 B種 C種 B種 - 水系さび止め - 見え隠れ部分 A種 B種 C種 EP-G塗 面 - 鉛・カドミウムさび止め 2種 塗替え A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 一液形変性エポキシ樹脂さび止め - A種 B種 C種 新規鋼製建具 B種 変成球状樹脂プライマー - A種 B種 C種 塗替え C種 - 水系さび止め - A種 B種 C種 EP-G塗
	8 耐震補強工事 (鉄筋工事) 1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 SD295A D16以下 SD345 D19以上 SD295AはFc:24以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する 2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 3 鉄筋の継手 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手 ガス圧接継手 D19以上 機械式継手 溶接継手 重ね継手 ガス圧接継手 D16以下 機械式継手 溶接継手 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき 構造図による 施工完了後の継手部の試験 行う 行わない 不合格となった継手部への措置等 監督職員と協議する 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき 構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 行う 行わない 不合格となった溶接部への措置等 監督職員と協議する 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 構造図による 鉄筋継手位置 構造図による 表8.3.3による 鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 帯筋組立の形、継手及び定着 構造図による

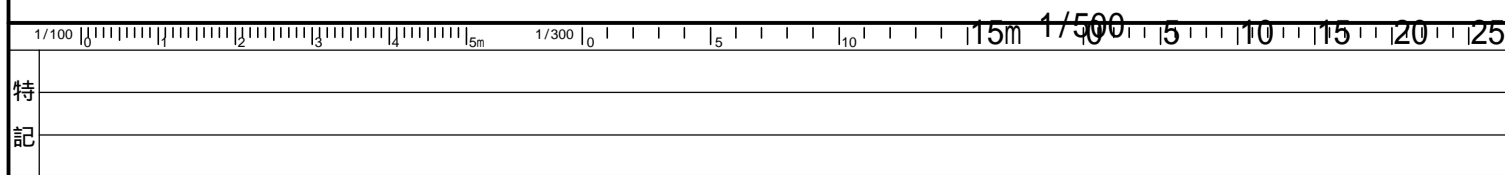
項目	特記事項
⑦ 塗装改修工事	塗装工程 (7.4.2) ~ (7.15.2) 工程の種類 (表7.4.1) ~ (表7.14.1) 記 号 名 称 種 別 S O P 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種(外部の場合工程3、工程4は行わない) C種 種類 1種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 A種 B種 C種 塗替え 鋼製建具 A種 B種 C種 その他塗替え・新規 A種 B種 C種 C L 珪藻土塗り A種 B種 F E 珪酸樹脂珪藻土塗り 木部 表7.6.1 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面 表7.6.2 N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り A種 B種 D P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 A-1種 B-1種 C-1種 A-2種 B-2種 C-2種 上塗り 1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 ポリウレタン系等 E P - G つや有合成樹脂珪藻土ペイント塗り コンクリート面、プラスチック面、木部、鉄鋼面、せっこうボード面、その他ボード面 A種 B種 C種 しみ止め剤 (B種及びC種の場合) 木部 新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 E P 合成樹脂珪藻土ペイント塗り A種 B種 C種 しみ止め剤 (B種及びC種の場合) E P - T 合成樹脂珪藻土珪藻土塗料塗り A種 B種 C種 U C 珪酸樹脂珪藻土 A種 B種 O S 珪藻土珪藻土塗り 表7.13.1 W P 木材保護塗料塗り A種 B種
	8 耐震補強工事 (鉄筋工事) 1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 SD295A D16以下 SD345 D19以上 SD295AはFc:24以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する 2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 3 鉄筋の継手 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手 ガス圧接継手 D19以上 機械式継手 溶接継手 重ね継手 ガス圧接継手 D16以下 機械式継手 溶接継手 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき 構造図による 施工完了後の継手部の試験 行う 行わない 不合格となった継手部への措置等 監督職員と協議する 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき 構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 行う 行わない 不合格となった溶接部への措置等 監督職員と協議する 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 構造図による 鉄筋継手位置 構造図による 表8.3.3による 鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 帯筋組立の形、継手及び定着 構造図による

アスベスト対策工事仕様書

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
13 アスベスト対策工事	適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板等除去工事	13 アスベスト対策工事	仕上げ工事 (9.1.1) 石綿作業主任者 (9.1.2)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による — 石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による — 除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外（この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする） — 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 種 類 種 類 石綿保温材 石綿含有耐火被膜材 石綿含有けいそう土保温材 石綿含有けい酸カルシウム板第二種 石綿含有パーライト保温材 屋根用折板裏断熱材 石綿含有けい酸カルシウム保温材 煙突用断熱材 石綿含有水練り保温材 塩基性炭酸マグネシウム保温材	
	法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。	7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	13 アスベスト対策工事	アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行うアスベスト含有成形板等の仕様 種 類 厚 (mm) 種 類 厚 (mm) 石綿含有スレート 石綿含有ビニル床タイル 2.0 石綿含有けい酸カルシウム板 石綿セメントけい酸加がれ板 石綿含有押出成形セメント板 化粧石綿セメントけい酸加がれ板 石綿含有岩綿吸音天井板 石綿含有仕上塗料 石綿含有石膏ボード 9.5 (外壁塗材下地調整材)	
石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示する。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物などの搬出方法 アスベスト含有分析 行う（分析結果を監督職員に提出する） 材 料 名 定性分析方法 定量分析方法 (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について（一財）日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 除去を行う範囲 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認） 全ての室 除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 種 類 種 類 吹付け石綿 石綿含有吹付けロックウール 石綿含有吹付けひる石 石綿含有吹付けパーライト 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去物の処理方法 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	13 アスベスト対策工事	アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。アスベスト含有石膏ボード（管理型最終処分場における埋立処分）を除くアスベスト含有成形板 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（財）宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。
4 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	アスベスト粉じん濃度測定 行う 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備 考 除去作業前 除去作業室内 1点 2点 3点 点 普通教室棟外部付近 1点 2点 4点 除去作業中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 負圧粉じん装置の排出吹き出し口 吹出し風速1m/秒以下の位置 各 1点 2点 3点 普通教室棟外部付近 1点 2点 3点 4点 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 点 シート養生中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 シート撤去後 普通教室棟外部付近 1点 2点 4点 1週間以降 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない 測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 報告書提出部数 3部 部	除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による — 除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外（この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする） — 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 種 類 種 類 石綿保温材 石綿含有耐火被膜材 石綿含有けいそう土保温材 石綿含有けい酸カルシウム板第二種 石綿含有パーライト保温材 屋根用折板裏断熱材 石綿含有けい酸カルシウム保温材 煙突用断熱材 石綿含有水練り保温材 塩基性炭酸マグネシウム保温材	13 アスベスト対策工事	アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行うアスベスト含有成形板等の仕様 種 類 厚 (mm) 種 類 厚 (mm) 石綿含有スレート 石綿含有ビニル床タイル 2.0 石綿含有けい酸カルシウム板 石綿セメントけい酸加がれ板 石綿含有押出成形セメント板 化粧石綿セメントけい酸加がれ板 石綿含有岩綿吸音天井板 石綿含有仕上塗料 石綿含有石膏ボード 9.5 (外壁塗材下地調整材)	

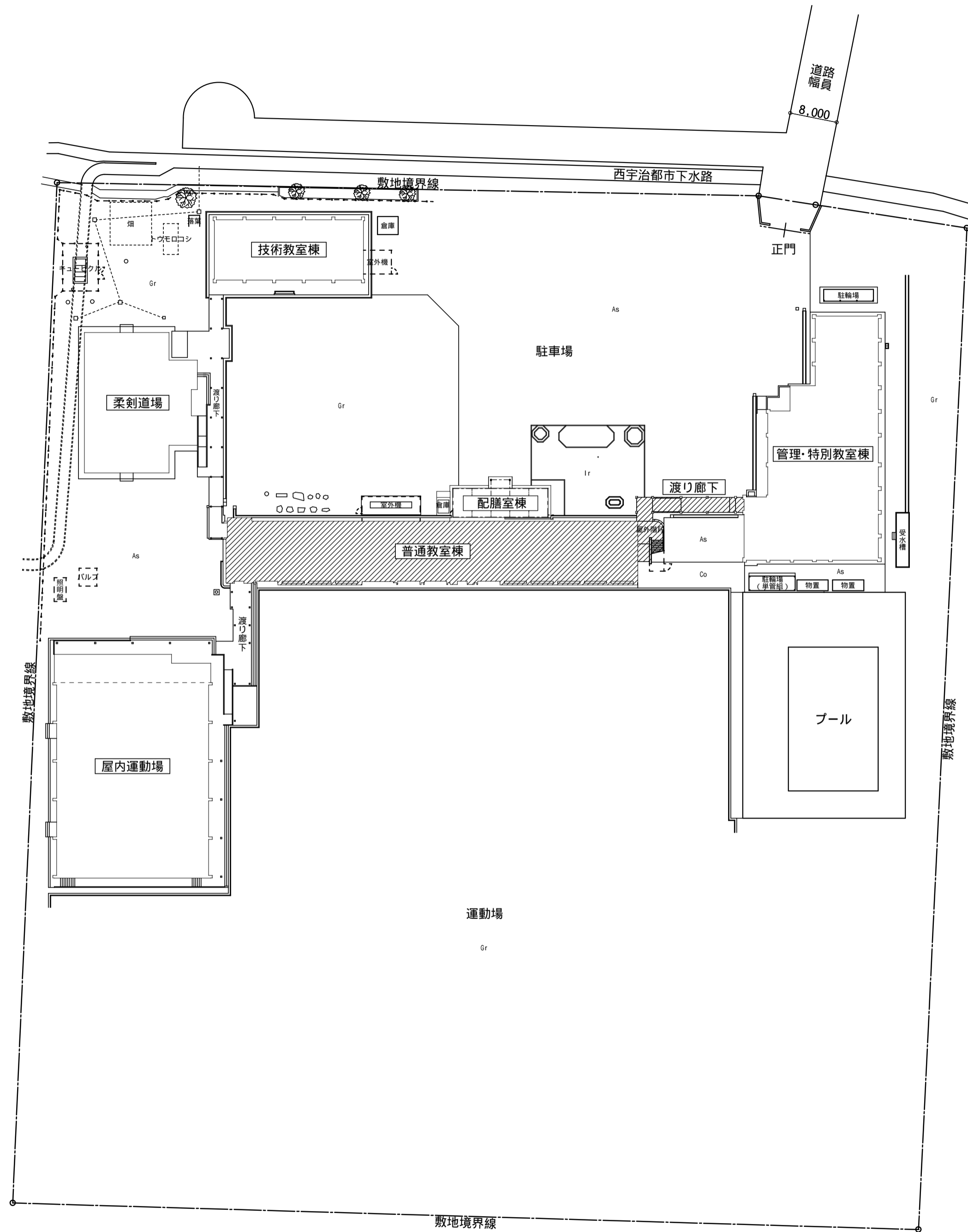
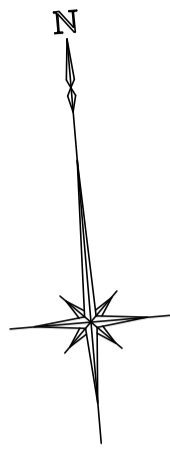


西宇治中学校：宇治市伊勢田町南山21番地の1

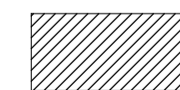


株式会社山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号
 二級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 設計年度 令和 年 月

特記	設計	決裁欄	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺		図番
								A2	A3	
						西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)	付近見取図	1/2000	-	A - 09



凡例



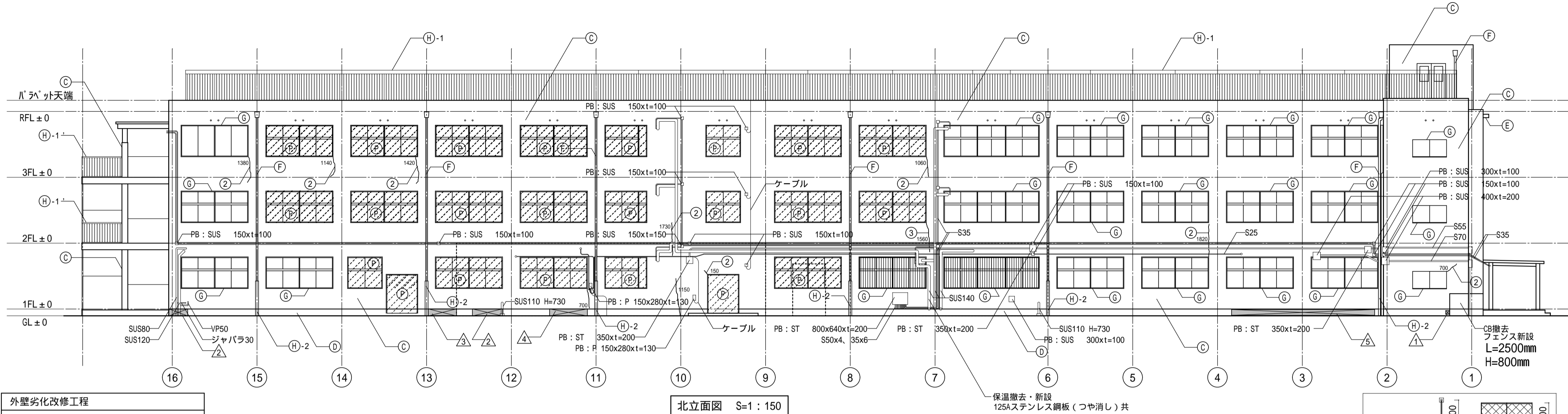
今回工事建物を示す

配置図 1/600

特 記	1/100	1/300	1/500	1/600	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/2500
	<p>株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>								
	設計番号	設計年度	令和 年 月						

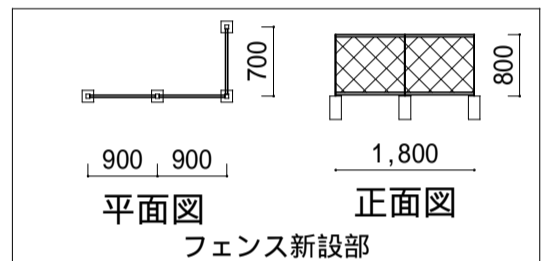
設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	載				西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)	配置図	A2 1/600	A - 10
	欄						A3 -	

設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	載				西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)	配置図	A2 1/600	A - 10
	欄						A3 -	



北立面図 S=1:150

特記なきクラック箇所は①とする。



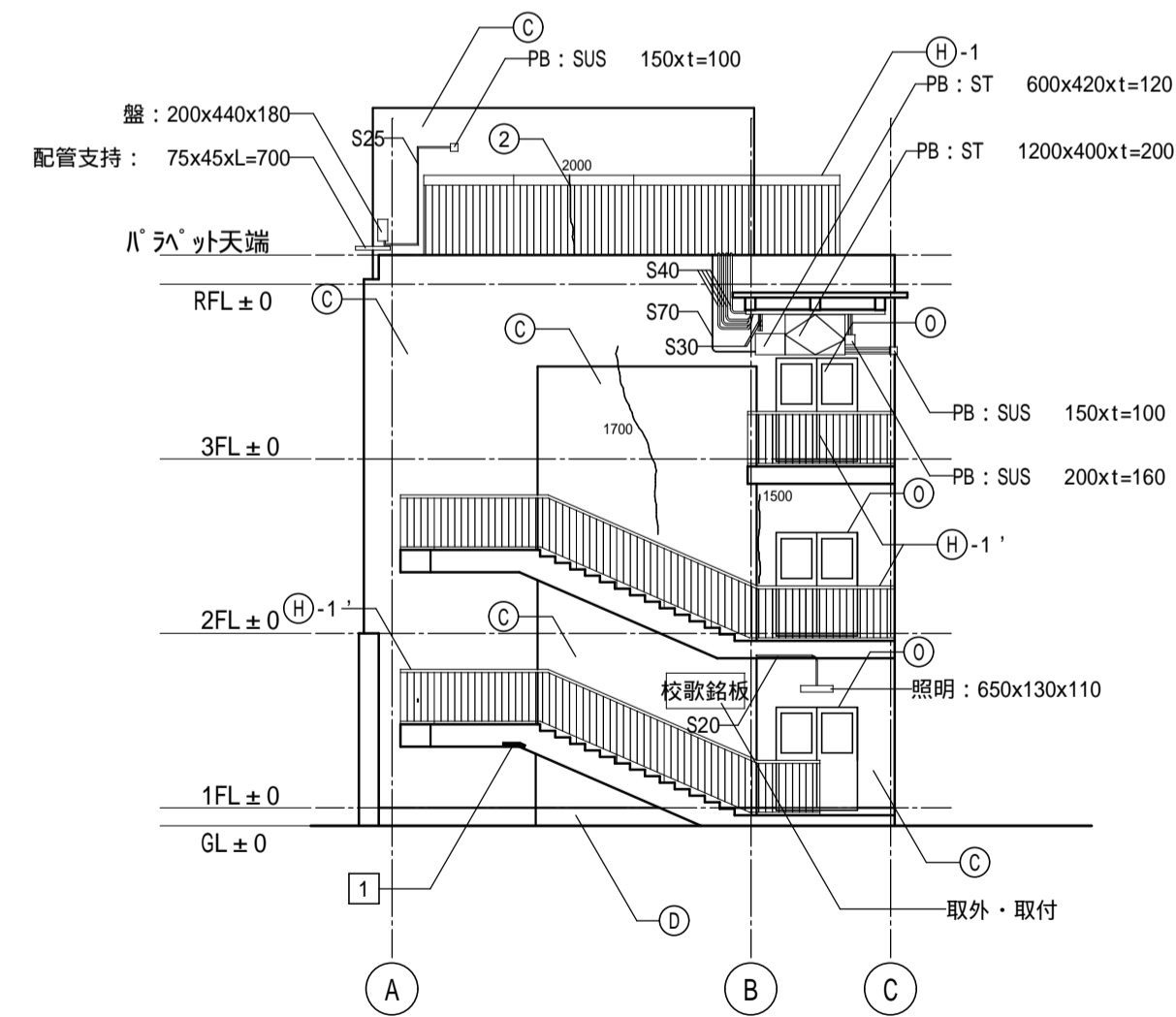
- 外壁劣化改修工程**
- (1) 高圧水洗、清掃
 - (2) 各補修範囲の確認 (調査報告書作成)
 - (3) 各部補修
 - (A) クラック補修
 1. Uカット (溝内清掃共)
 2. プライマー塗布
 3. シーリング材充填
 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
 - (B) 欠損・露筋部補修
 1. はつり、下地処理 (ケレン、清掃)
 2. プライマー・錆止め塗布
 3. エポキシ樹脂モルタル充填
 - (C) 浮き部補修
 1. 削孔、清掃
 2. エポキシ樹脂注入
 3. アンカーピン (SUS304) 挿入
 4. エポキシ樹脂充填
- 注) アンカーピン本数は16本/m²とする

外壁補修

記号	劣化種別	数量	記号	劣化種別	数量	記号	劣化種別	数量
①	クラック W=0.15 L=立面図へ記載	254.45m	①	欠損 430x80 1箇所		△1	モルタル浮き 200x200 1箇所	
②	クラック W=0.20 "	11.40m				△2	モルタル浮き 1000x370 2箇所	
③	クラック W=0.30 "	1.56m				△3	モルタル浮き 1500x370 1箇所	
					計 0.03m ²	△4	モルタル浮き 2000x370 1箇所	
						△5	モルタル浮き 7600x310 1箇所	計 4.43m ²

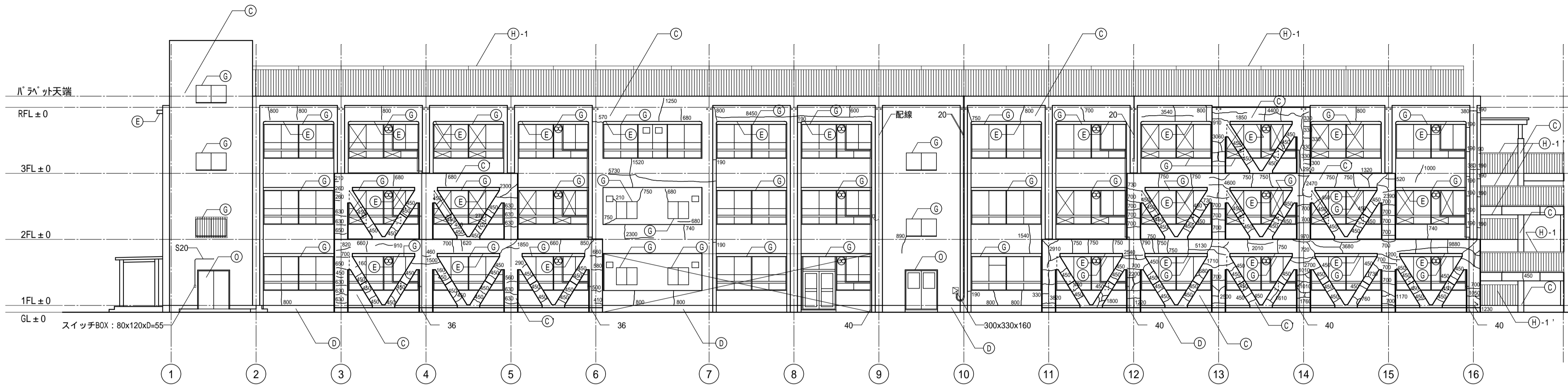
仕上表

仕上	現況	改修	仕上	現況	改修
(A)	塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 防水モルタル仕上 t=30	下地処理後 改修塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 下地処理後、ウレタン塗膜防水	(I)	ブナ複合フローリング t=15.0	ウレタン樹脂ワニス塗 (3回塗) サンダー掛け共
(B)	ドレン：飾り桧：塩ビ製	取替：ドレン塩ビ製 改修用ドレン・飾り桧：GN96同等品	(J)	黒板：W3600xH1200 (J) W1800xH900	取替え：W3600xH1200 (J) W1800xH1200
(C)	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け (C) 鋼板内蔵 R C プレース部分：打放し補修の上、外装薄塗材 E 吹付	高圧洗浄、下地処理後 防水形複層塗材 R E フッ素系	(K)	掲示板：W7010xH1675 (K) W6165xH1700	取替え：W6750xH1750 (K) W6750xH1750
(D)	巾木：モルタル塗	高圧洗浄	(L)	生徒用ロッカー：1780x400x880 (1教室3台)	取替え：900x450x800 (1教室6台) (別途工事)
(E)	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け	高圧洗浄、下地処理後 外装薄塗材 E	(M)	掃除用具入れ：600x400x1800	取替え：600x400x1800 (別途工事)
(F)	縦樋：硬質塩化ビニル管 (カラーVP125) 鋼製支持金物 @1200	取替え：硬質塩化ビニル管 (カラーVP125) SUS製支持金物 @1200	(N)	スクールパーティション：引違い扉 W2000xH2000	取替え：引違い扉 W2000xH2000
(G)	シーリング：外部建具廻り	打替え：変成シリコーン系 (MS-2)	(O)	外部建具：鋼製 両開き扉 W1600xH2000	取替え：鋼製 両開き扉 W1600xH2000 DP シーリング共
(H)	1 手摺：鋼製 H=2000 (H)-1 H=1100	2 縦樋足元養生管：鋼製 160 H=1850	(P)	昨年度改修済建具	
		塗替え：DP (1級)			



東立面図 S=1:150

特記なきクラック箇所は①とする。



南立面図 S=1:150

特記なきクラック箇所は ① とする。

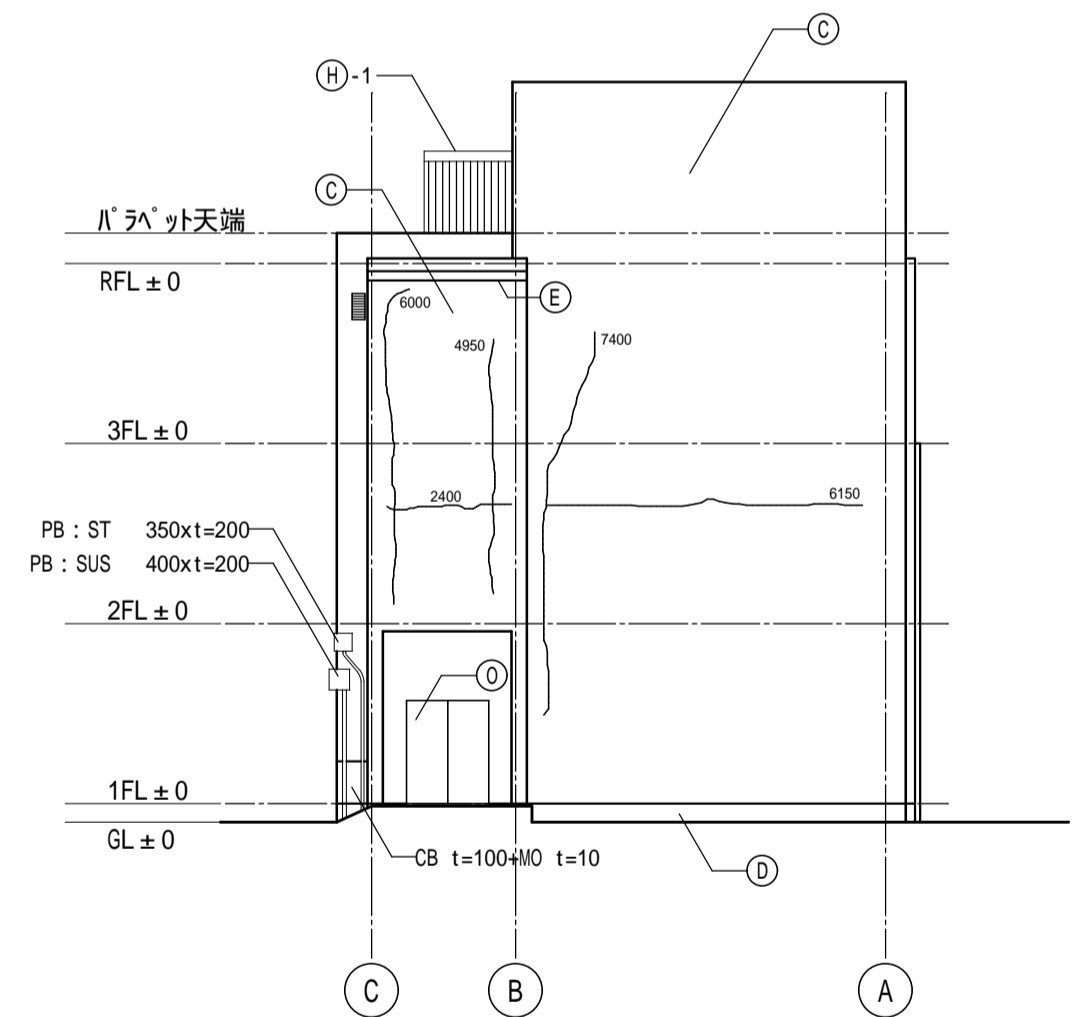
- 外壁劣化改修工程
- (1) 高圧水洗、清掃
 - (2) 各補修範囲の確認 (調査報告書作成)
 - (3) 各部補修
 - (A) クラック補修
 1. Uカット (溝内清掃共)
 2. プライマー塗布
 3. シーリング材充填
 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
 - (B) 欠損・露筋部補修
 1. はつり、下地処理 (ケレン、清掃)
 2. プライマー・錆止め塗布
 3. エポキシ樹脂モルタル充填
 - (C) 浮き部補修
 1. 削孔、清掃
 2. エポキシ樹脂注入
 3. アンカーピン (SUS304) 挿入
 4. エポキシ樹脂充填
- 注) アンカーピン本数は16本/m²とする

外壁補修

記号	劣化種別	数量	記号	劣化種別	数量	記号	劣化種別	数量
①	クラック W=0.15 L=立面図へ記載	254.45m	①	欠損 430x80 1箇所		△1	モルタル浮き 200x200 1箇所	
②	クラック W=0.20 "	11.40m				△2	モルタル浮き 1000x370 2箇所	
③	クラック W=0.30 "	1.56m				△3	モルタル浮き 1500x370 1箇所	
					計 0.03m ²	△4	モルタル浮き 2000x370 1箇所	
						△5	モルタル浮き 7600x310 1箇所	計 4.43m ²

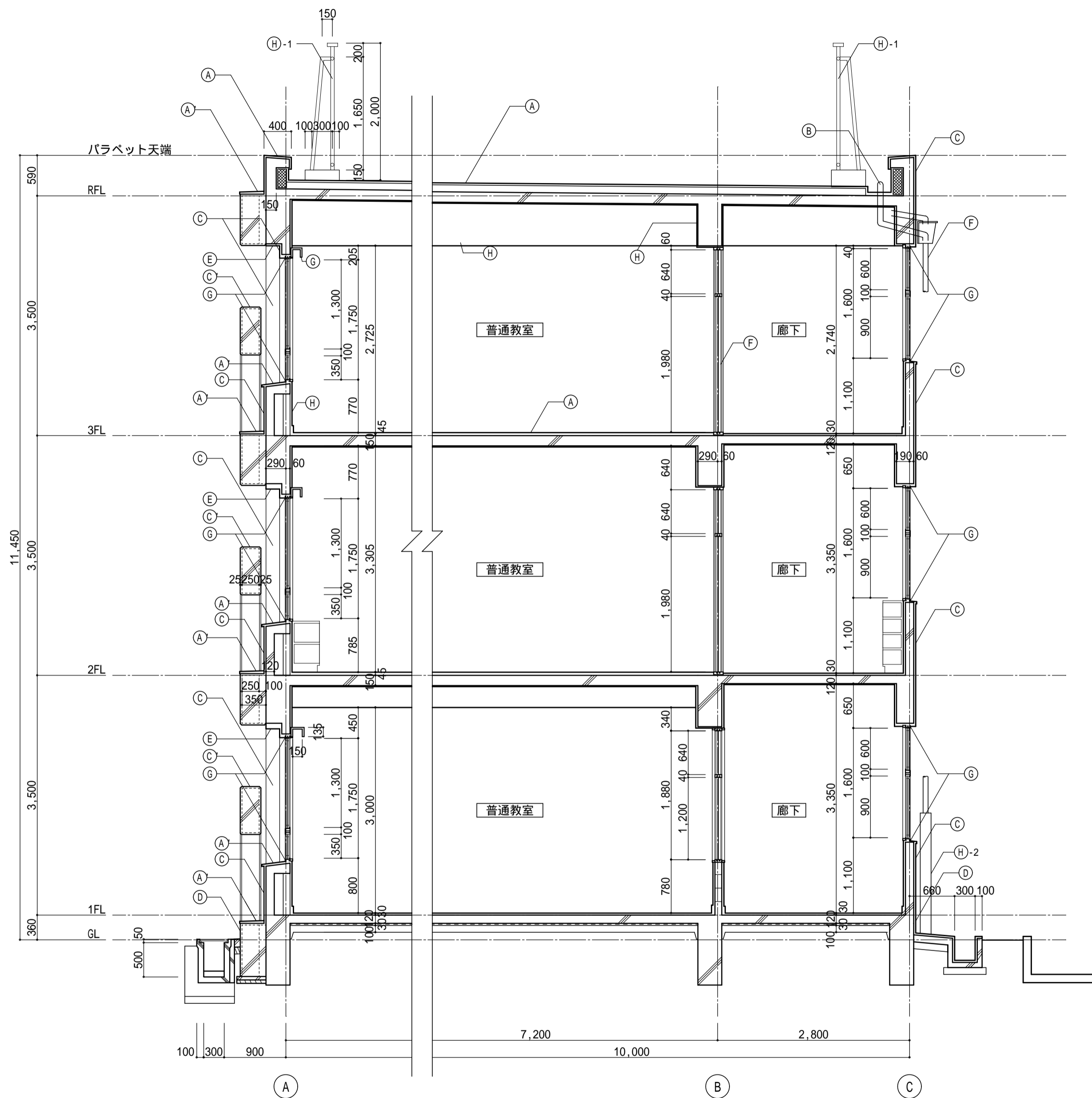
仕上表

A	現況	塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 防水モルタル仕上 t=30)	I	現況	ブナ複合フローリング t=15.0
	改修	下地処理後 改修塩ビ断熱シート防水仕上 立上り共(下地処理後、ウレタン塗膜防水)		改修	ウレタン樹脂ワニス塗 (3回塗) サンダー掛け共
B	現況	ドレン: 飾り桧: 塩ビ製	J	現況	黒板: W3600xH1200 (J) W1800xH900)
	改修	取替: ドレン塩ビ製 改修用ドレン・飾り桧: GN96同等品		改修	取替え: W3600xH1200 (J) W1800xH1200)
C	現況	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け (C) 鋼板内蔵 R C プレース部分: 打放し補修の上、外装薄塗材 E 吹付)	K	現況	掲示板: W7010xH1675 (K) W6165xH1700)
	改修	高圧洗浄、下地処理後 防水形複層塗材 R E フッ素系		改修	取替え: W6750xH1750 (K) W6750xH1750)
D	現況	巾木: モルタル塗	L	現況	生徒用ロッカー: 1780x400x880 (1教室3台) (撤去)
	改修	高圧洗浄		改修	取替え: 900x450x800 (1教室6台) (別途工事)
E	現況	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け	M	現況	掃除用具入れ: 600x400x1800 (撤去)
	改修	高圧洗浄、下地処理後 外装薄塗材 E		改修	取替え: 600x400x1800 (別途工事)
F	現況	縦樋: 硬質塩化ビニル管 (カラーVP125) 鋼製支持金物 @1200	N	現況	スクールパーティション: 引違い扉 W2000xH2000
	改修	取替え: 硬質塩化ビニル管 (カラーVP125) SUS製支持金物 @1200		改修	取替え: 引違い扉 W2000xH2000
G	現況	シーリング: 外部建具廻り	O	現況	外部建具: 鋼製 両開き扉 W1600xH2000
	改修	打替え: 変成シリコン系 (MS-2)		改修	取替え: 鋼製 両開き扉 W1600xH2000 DP シーリング共
H	現況	1 手摺: 鋼製 H=2000 (H)-1 H=1100)			
		2 縦樋足元養生管: 鋼製 160 H=1850			
	改修	塗替え: DP (1級)			



西立面図 S=1:150

特記なきクラック箇所は ① とする。



矩計図 S=1:50

仕上表 (外部)

A	現況	塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 防水モルタル仕上 t=30
	改修	下地処理後 改修塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 下地処理後、ウレタン塗膜防水
B	現況	ドレン：飾り桧：塩ビ製
	改修	取替え：ドレン塩ビ製 改修用ドレン・飾り桧：GN96同等品
C	現況	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け (C) 鋼板内蔵RCブレース部分：打放し補修の上、外装薄塗材E吹付け
	改修	高圧洗浄、下地処理後 防水形複層塗材RE フッ素系
D	現況	巾木：モルタル塗
	改修	改修無し
E	現況	モルタル塗刷毛引き 薄付仕上塗材吹付け
	改修	高圧洗浄、下地処理後 外装薄塗材E
F	現況	縦樋：鋼管 75 フタル酸樹脂エナメル塗 鋼製支持金物 @1200
	改修	取替え：鋼管 75 フタル酸樹脂エナメル塗 SUS製支持金物 @1200
G	現況	シーリング：外部建具廻り、その他取合い部
	改修	打替え：変成シリコン系 (MS-2) (一部除く)
H	現況	1 手摺：鋼製 H=2000 (H-1 H=1100)
		2 縦樋足元養生管：鋼製 160 H=1850
	改修	塗替え：DP (1級)

仕上表 (内部)

A	現況	ブナ複合フローリング t=15.0
	改修	ウレタン樹脂ワニス塗 (3回塗) サンダー掛け共
F	現況	スクールパーティション：引違い戸 W2000xH2000
	改修	取替え：引違い戸 W2000xH2000 (12ヶ所)
G	現況	廻縁・巾木・カーテンボックス：木製 SOP
	改修	SOP塗装改修 (カーテンレール撤去・新設)
H	現況	柱・梁型・壁面：モルタル EP
	改修	EP塗装改修

符 号	SP - 1, 2 スチール製学校用間仕切 【一部撤去】	SP - 3, 4 スチール製学校用間仕切 【一部撤去】
概 図		
場 所	3階 普通教室	3階 普通教室
数 量 見 込	6 80	6 80(戸32)
材質仕上・硝子	スチール フロート・スリガラス t=3.0	スチール フロート・スリガラス t=3.0
塗 装	焼付塗装	焼付塗装
建 築 金 物	クレセント、引戸錠、掘込引手	クレセント、引戸錠、掘込引手
備 考	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス
符 号	SP - 1, 2 スチール製学校用間仕切 【一部新設】	SP - 3, 4 スチール製学校用間仕切 【一部新設】
概 図		
場 所	3階 普通教室	3階 普通教室
数 量 見 込	6 80(戸32)	6 80(戸32)
材質仕上・硝子	スチール t=0.5 フロート・スリガラス t=3.0	スチール フロート・スリガラス t=3.0
塗 装	焼付塗装(戸DP塗装)	焼付塗装(戸DP塗装)
建 築 金 物	クレセント、引戸錠、掘込引手	クレセント、引戸錠、掘込引手
備 考	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス

1/100	1/300	1/500	1/250
特			
記			

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	
設計番号	設計年度
令和 年 月	

設計	決
課長	裁
係長	欄
係	

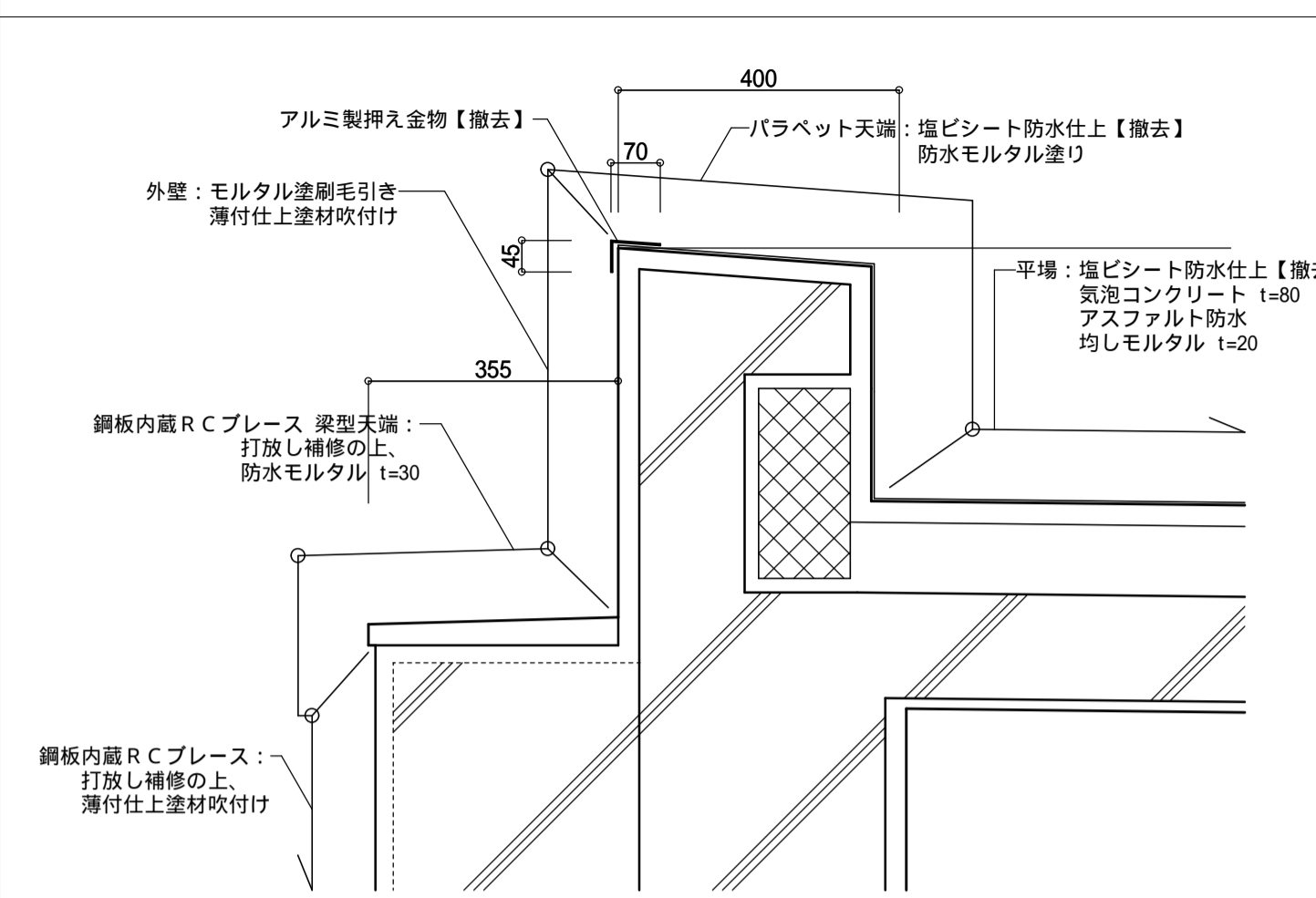
工事名	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)
-----	-----------------------

図名	普通教室棟 建具リスト(撤去・改修)
----	-----------------------

縮尺	図番
A2 1/50	A - 18
A3 -	

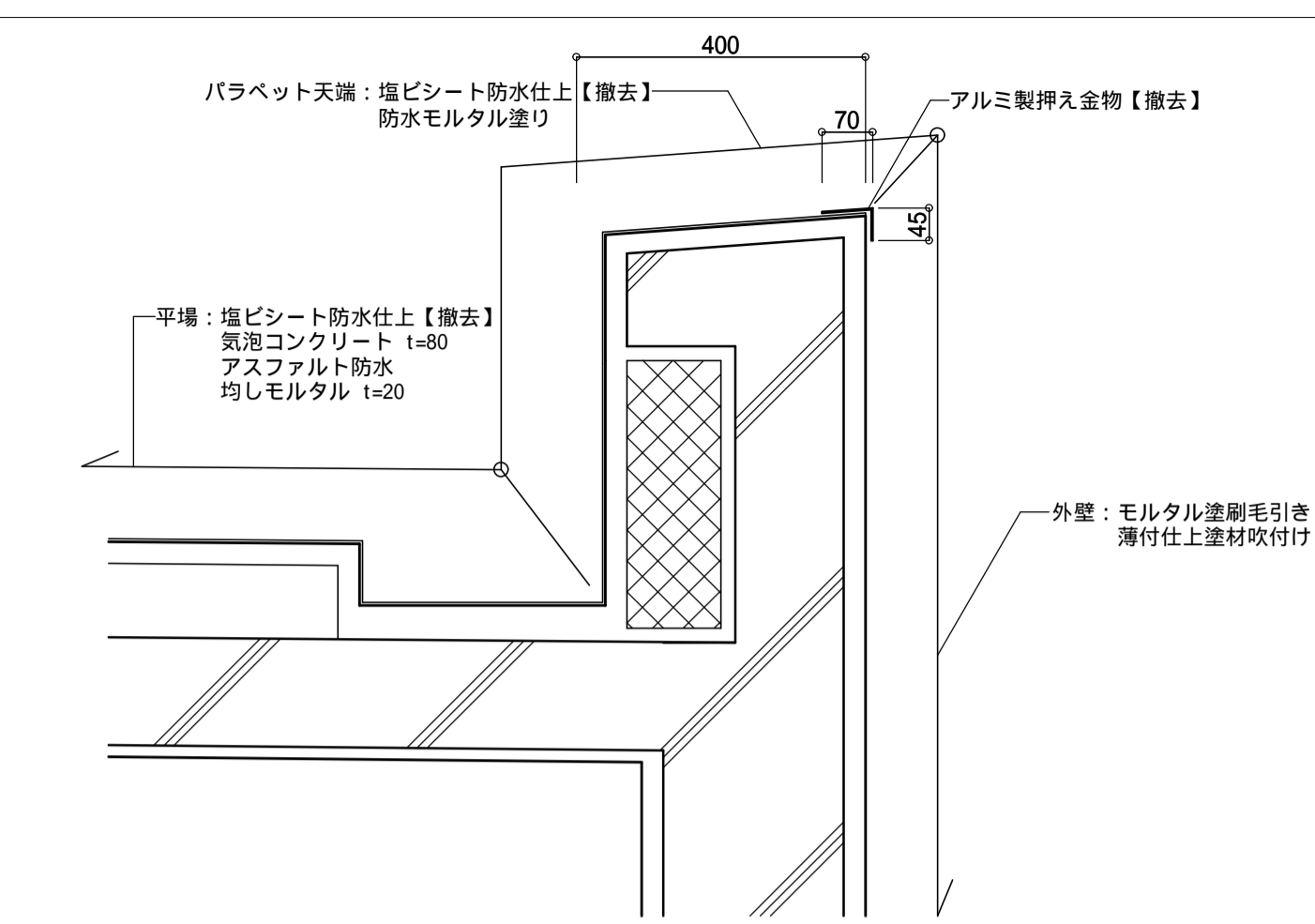
D-1 バラベット1部分詳細図(現況・撤去)

S=1:10



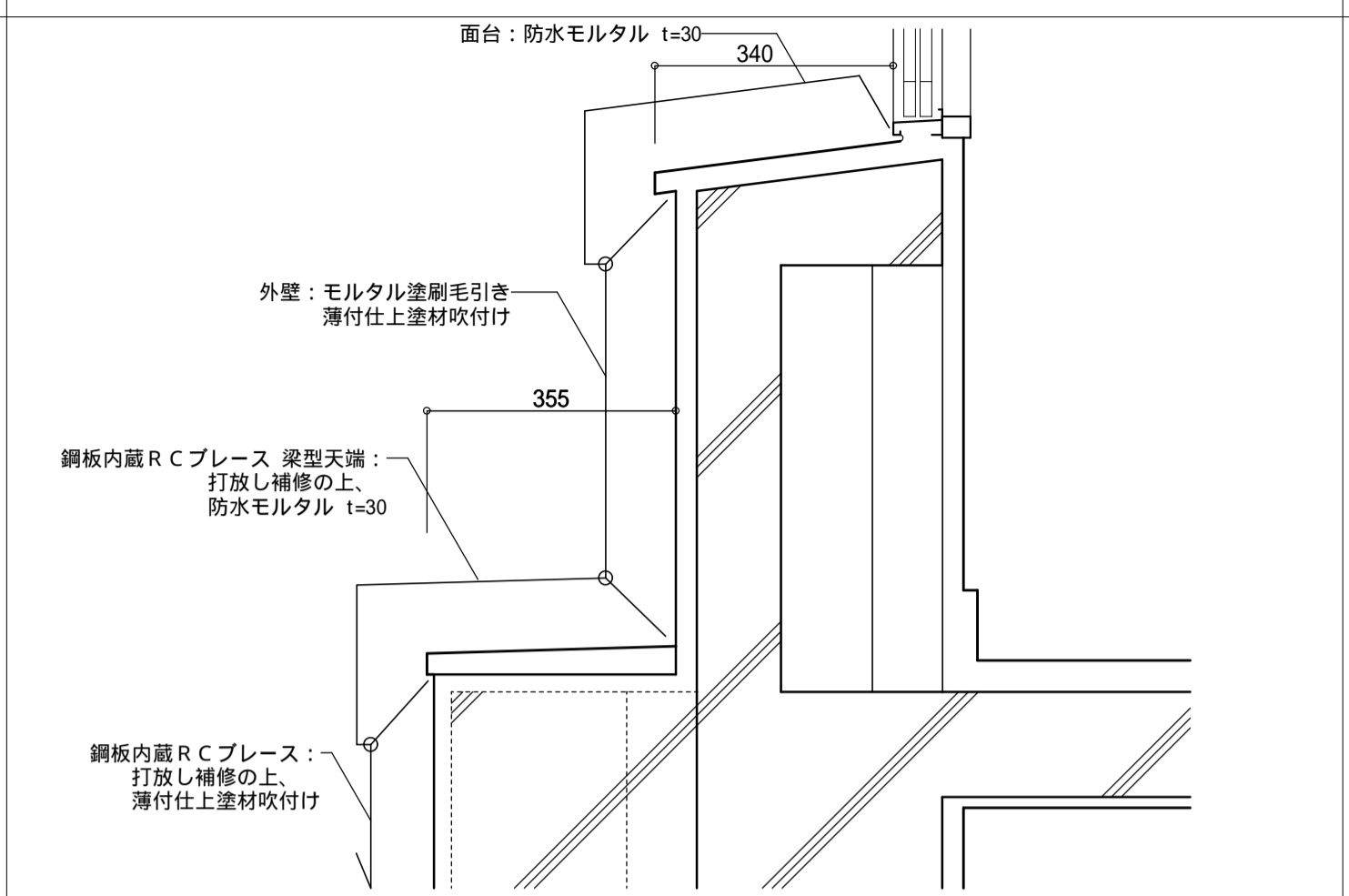
D-2 バラベット2部分詳細図(現況・撤去)

S=1:10



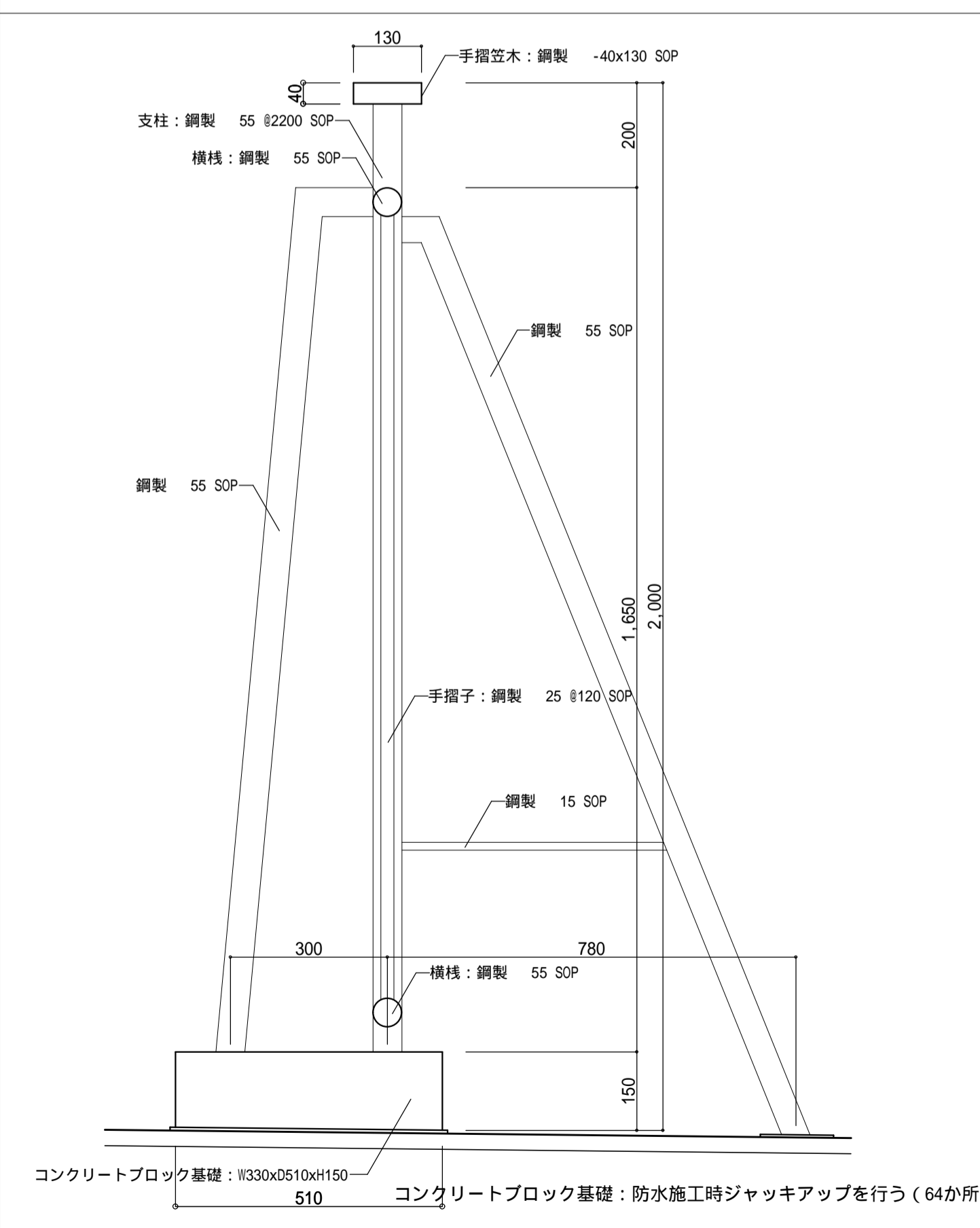
D-3 面台部分詳細図(現況・撤去)

S=1:10



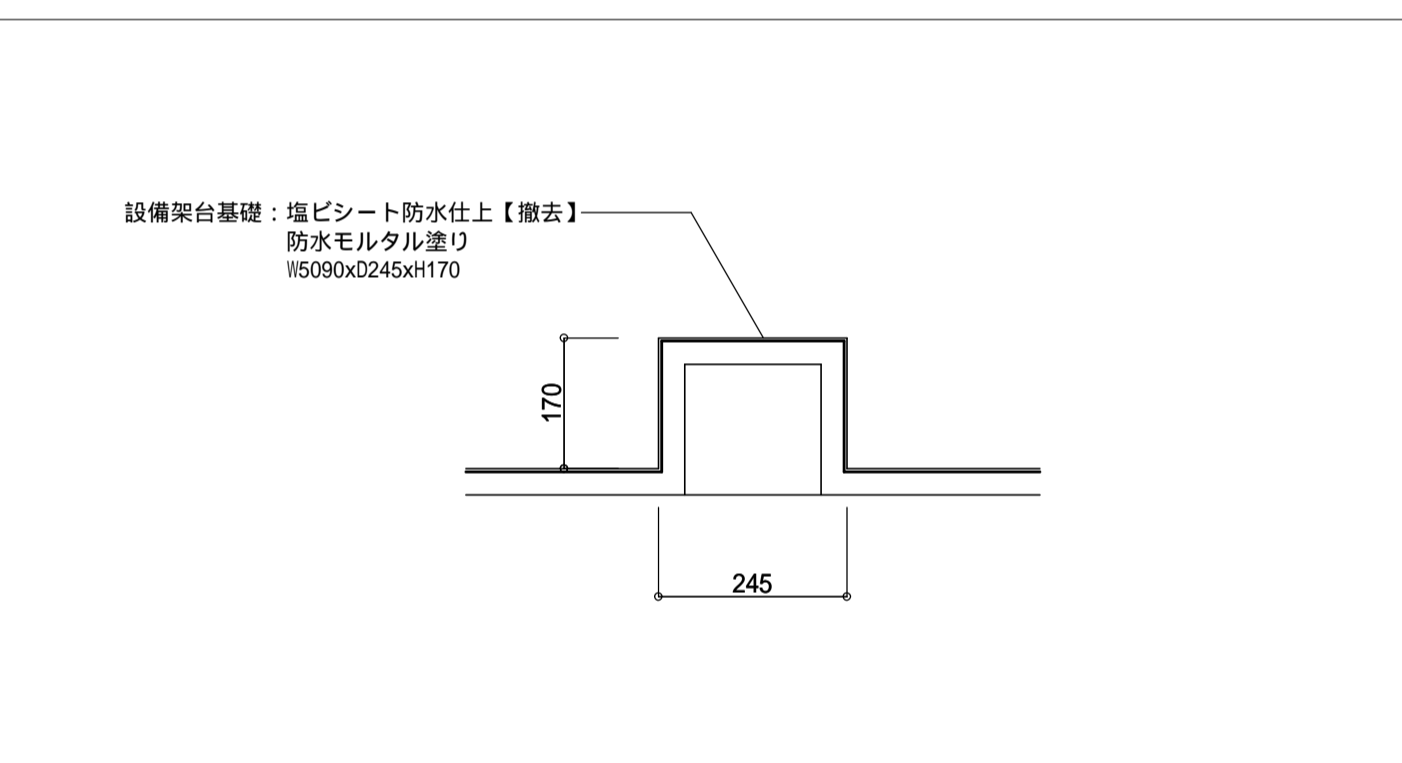
D-4 手摺部分詳細図(現況・撤去)

S=1:10



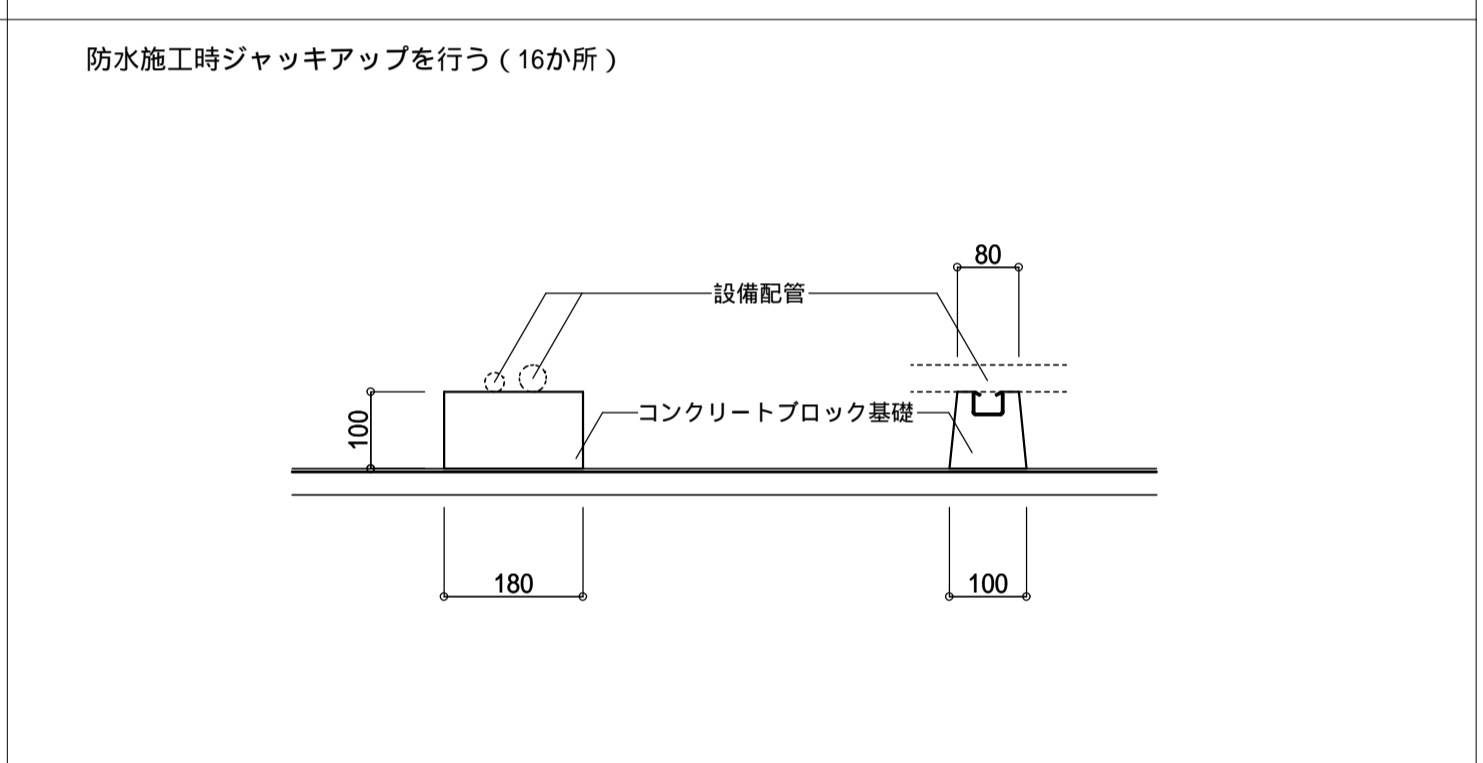
D-5 設備架台詳細図(現況・撤去)

S=1:10



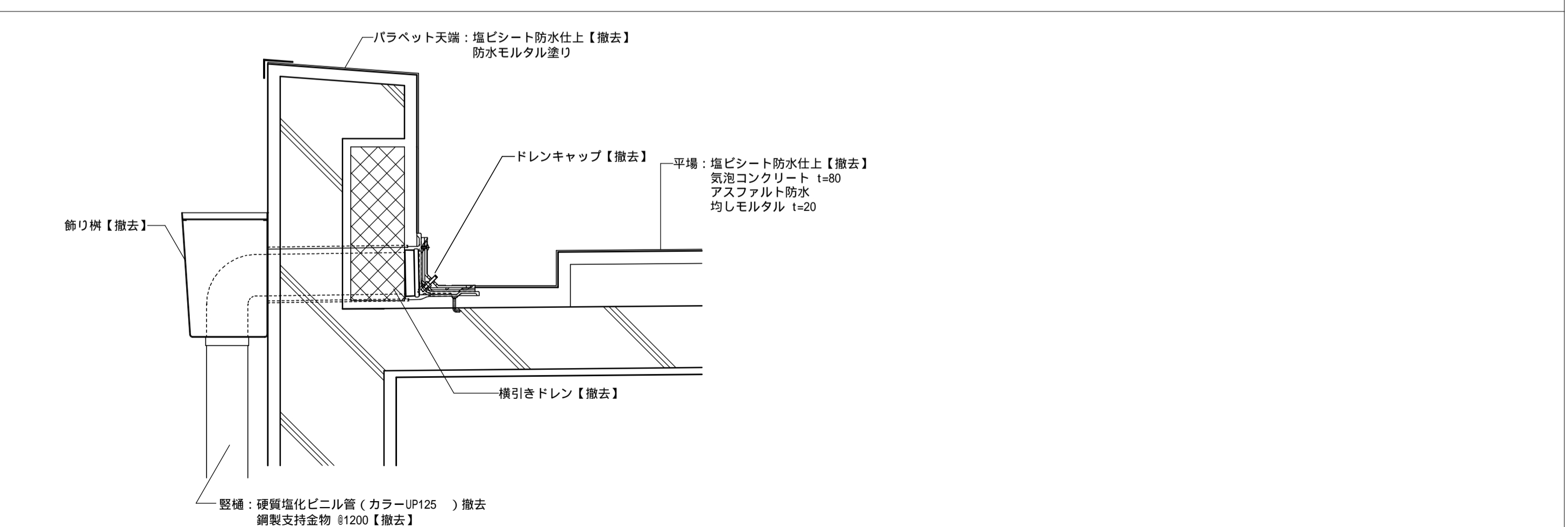
D-6 設備配管架台詳細図(現況・撤去)

S=1:10



ドレン廻り部分詳細図(標準参考図)(現況・撤去)

S=1:10

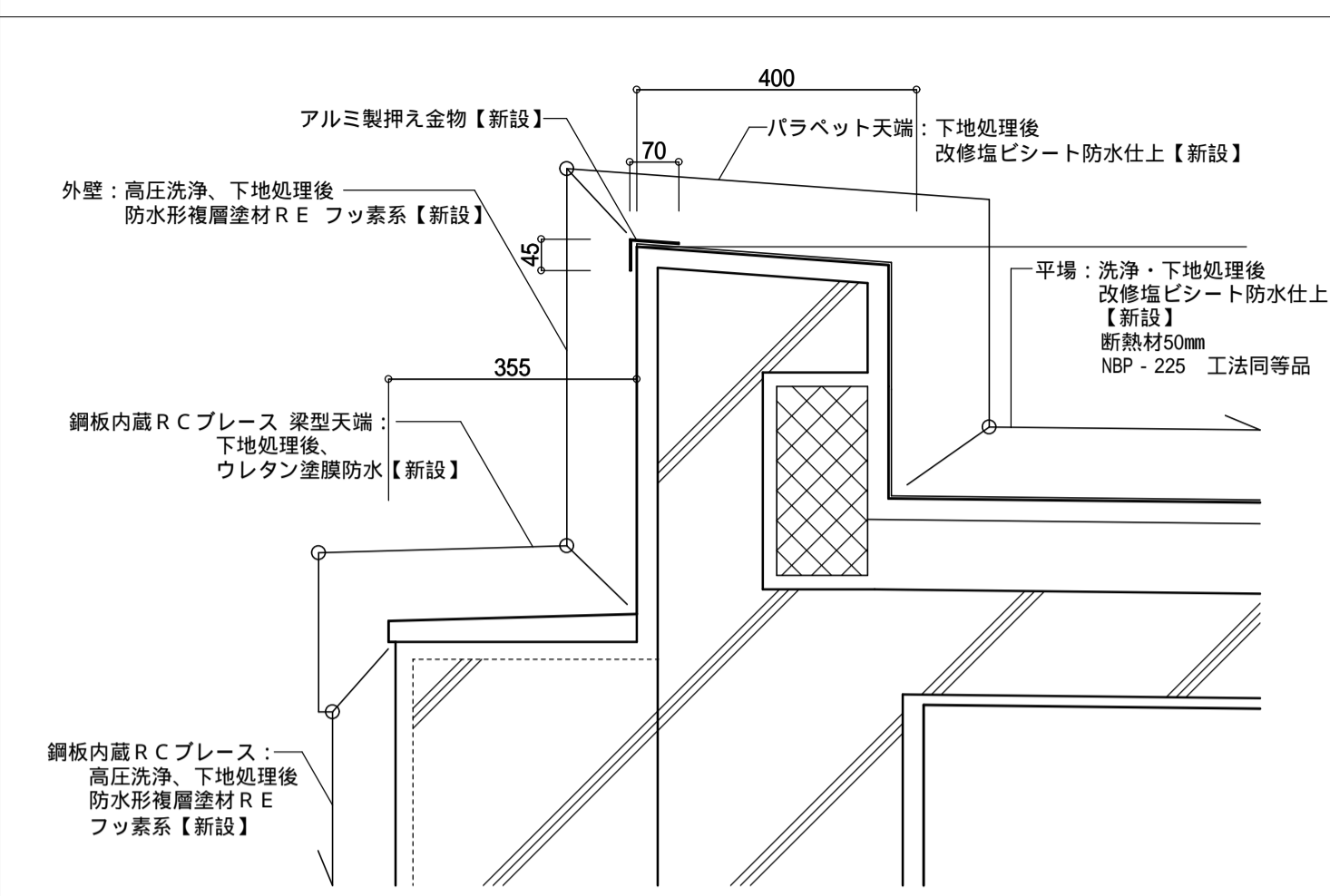


1/100	1/300	1/500	1/250
-------	-------	-------	-------

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(01A)第02439号 二級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也		設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	令和	年	月			西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)	普通教室棟 屋上防水詳細図(撤去)	A2 1/10 A3 -	A-19

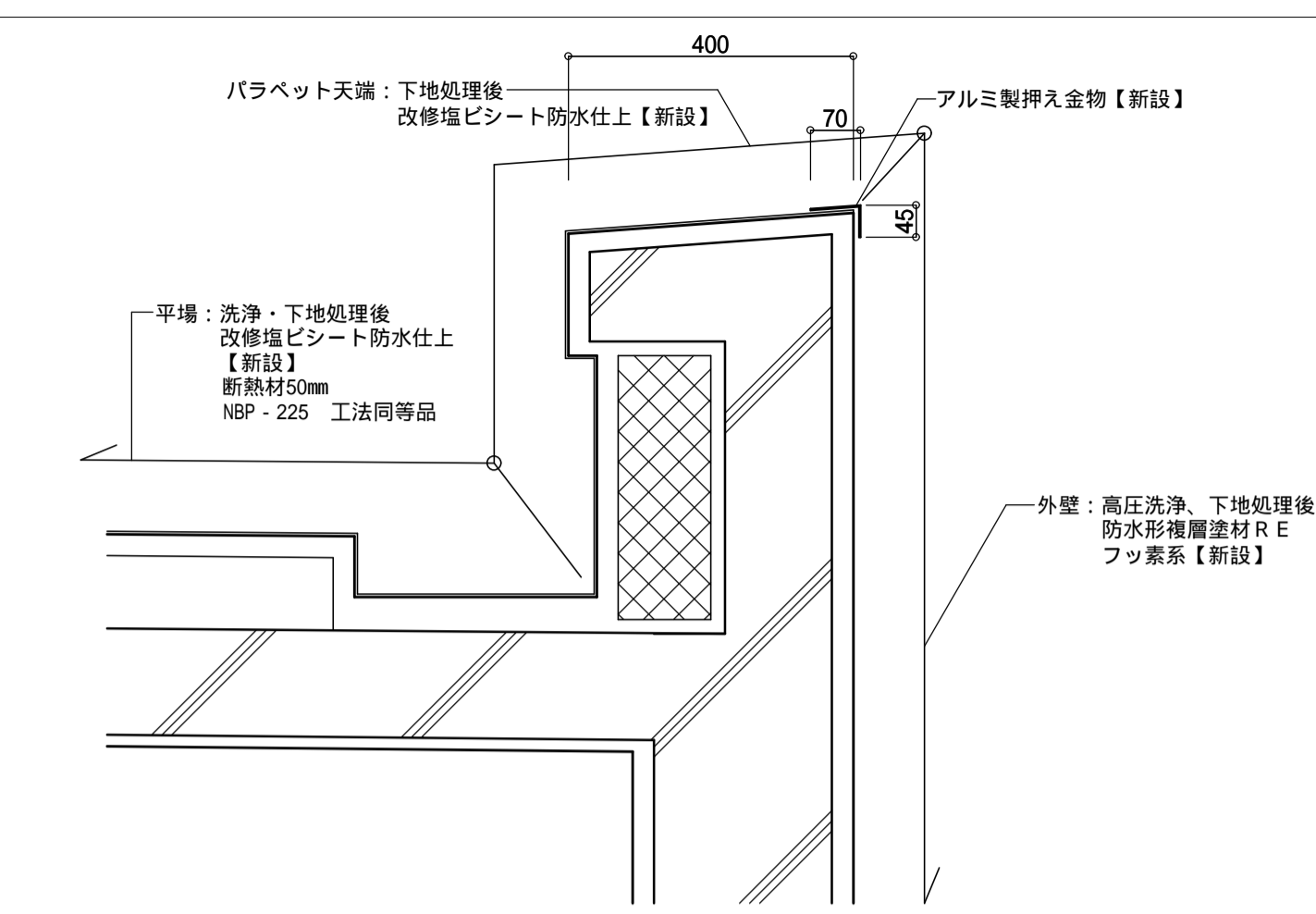
D-1 バラベット1部分詳細図(改修)

S=1:10



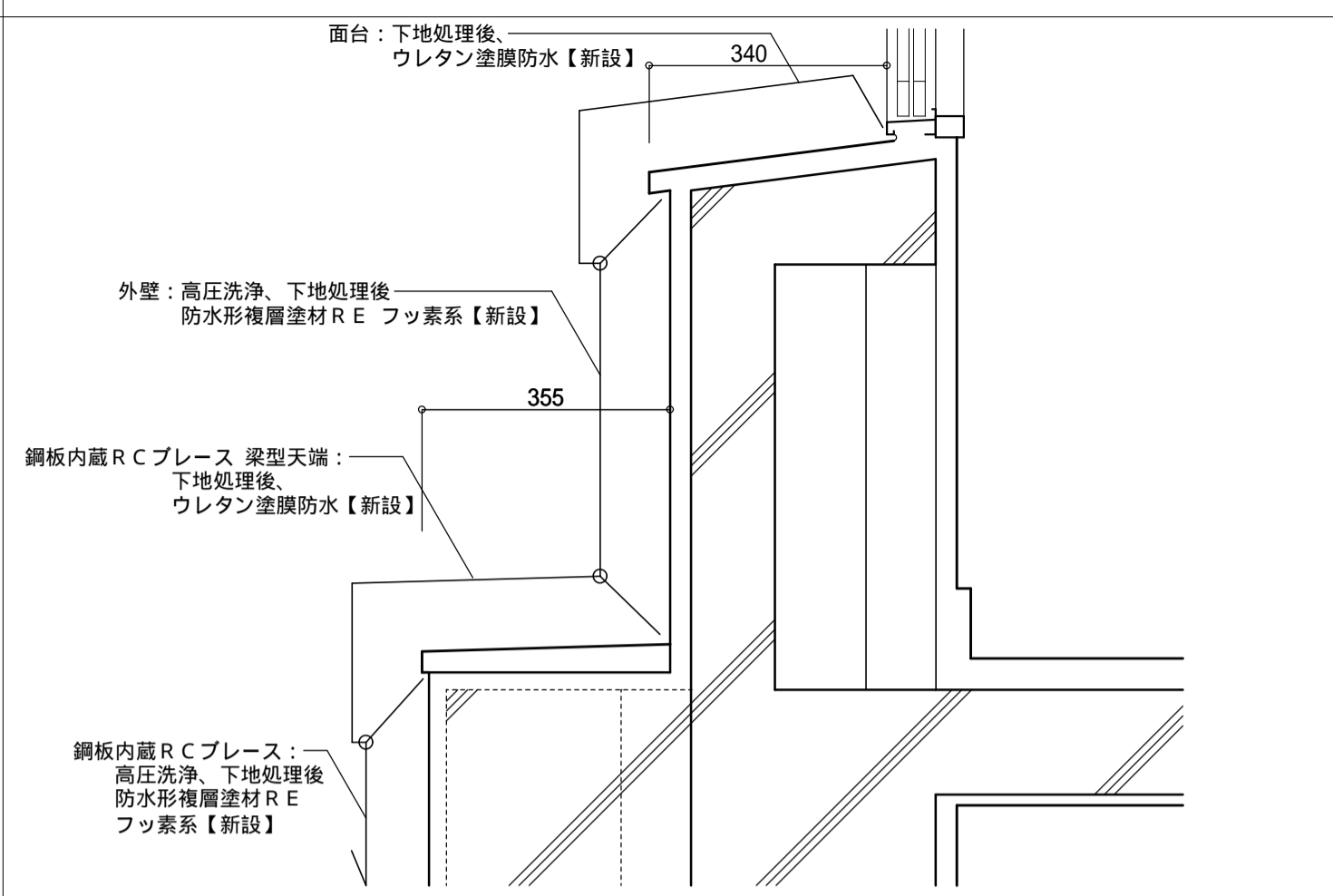
D-2 バラベット2部分詳細図(改修)

S=1:10



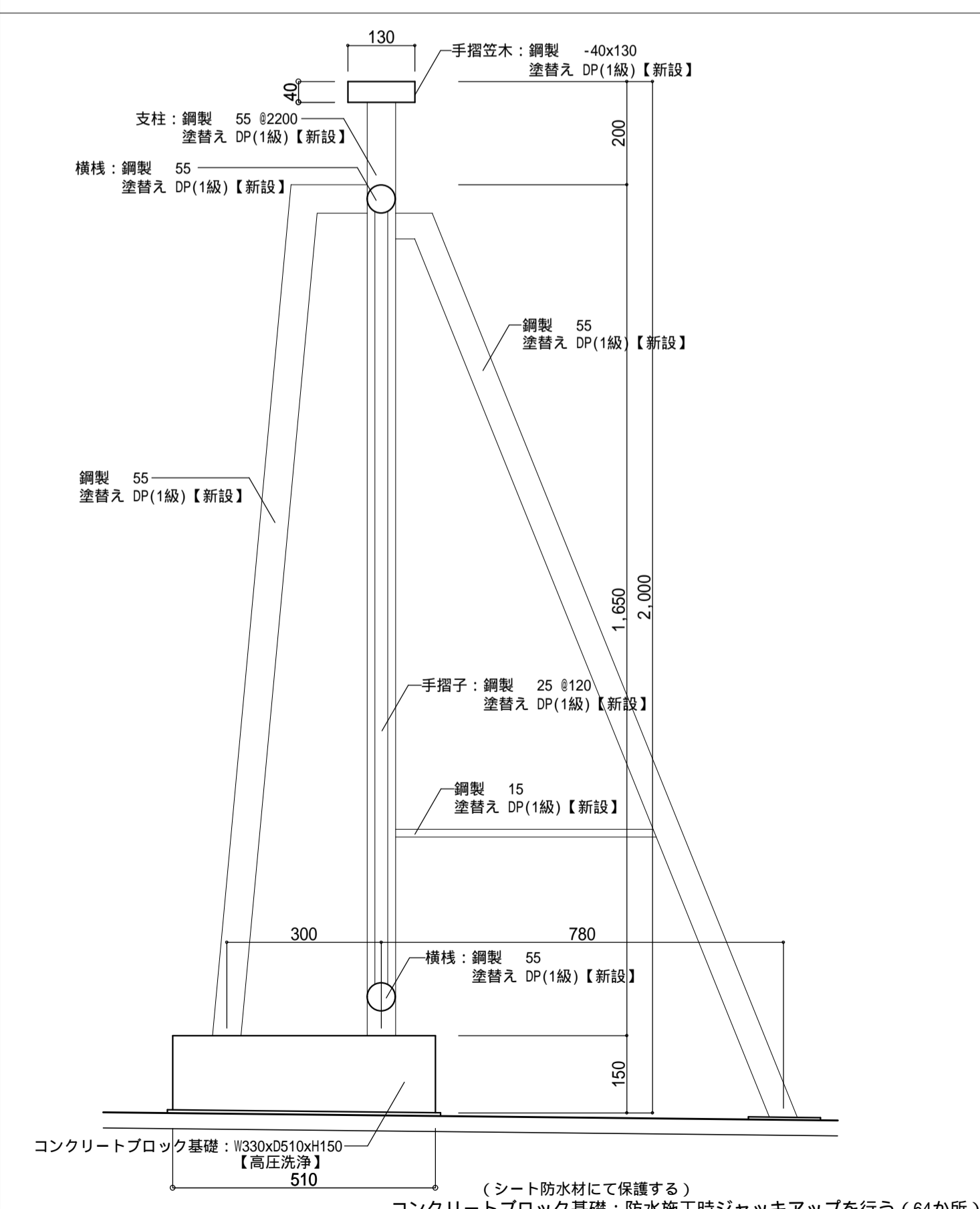
D-3 面台部分詳細図(改修)

S=1:10



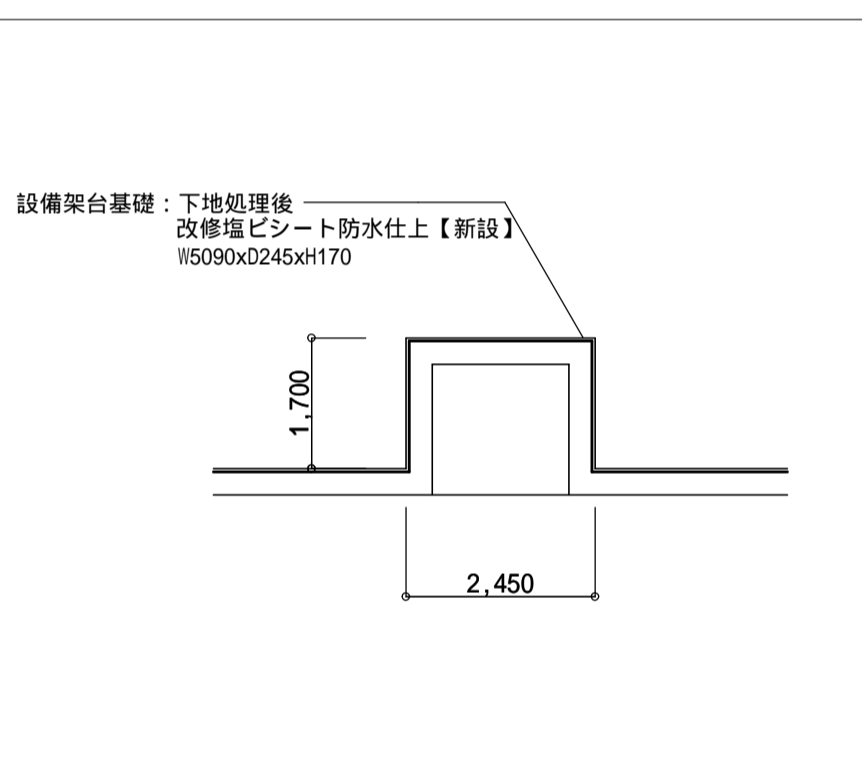
D-4 手摺部分詳細図(改修)

S=1:10



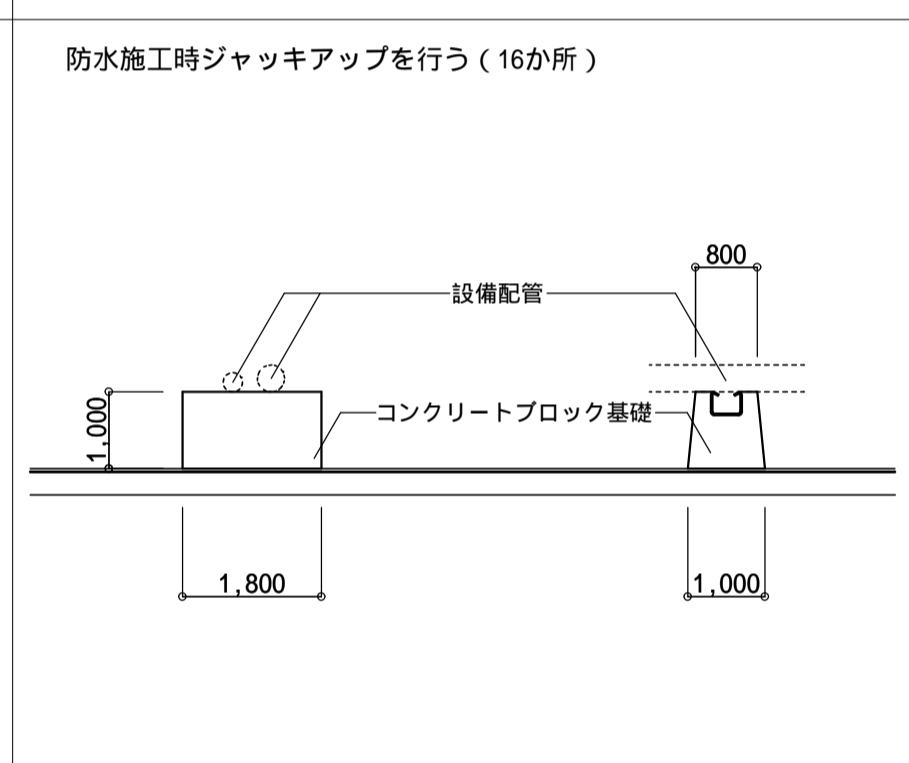
D-5 設備架台詳細図(改修)

S=1:10



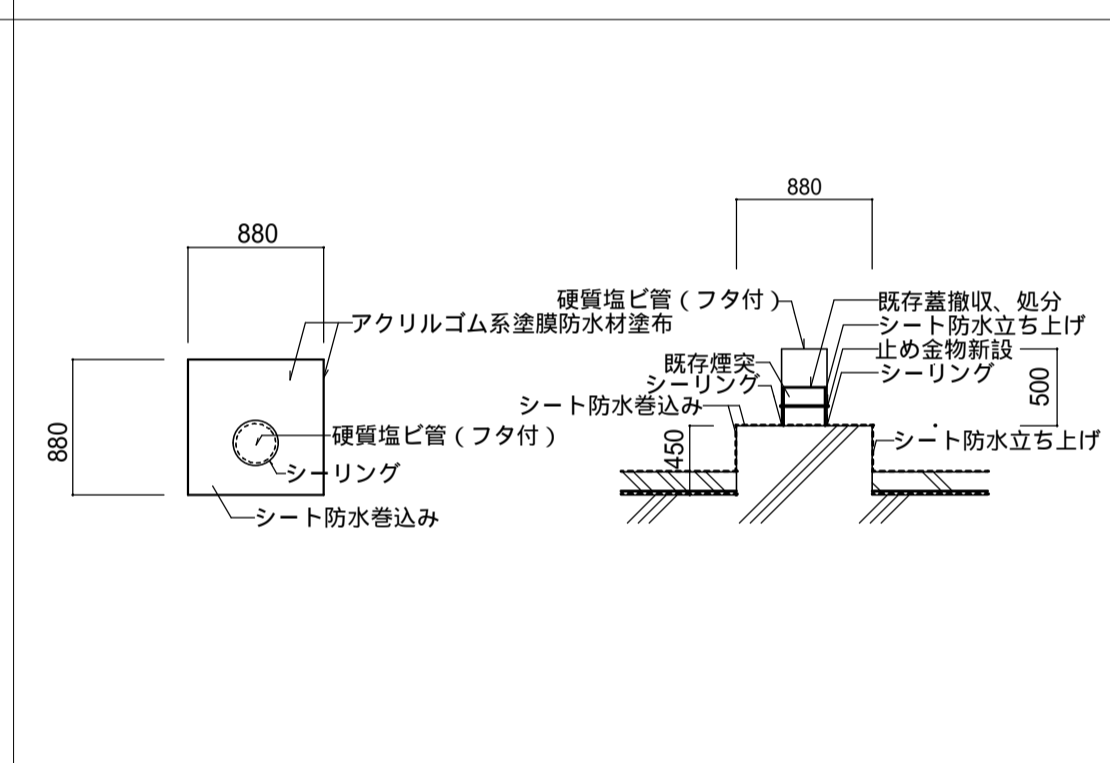
D-6 設備配管架台詳細図(改修)

S=1:10



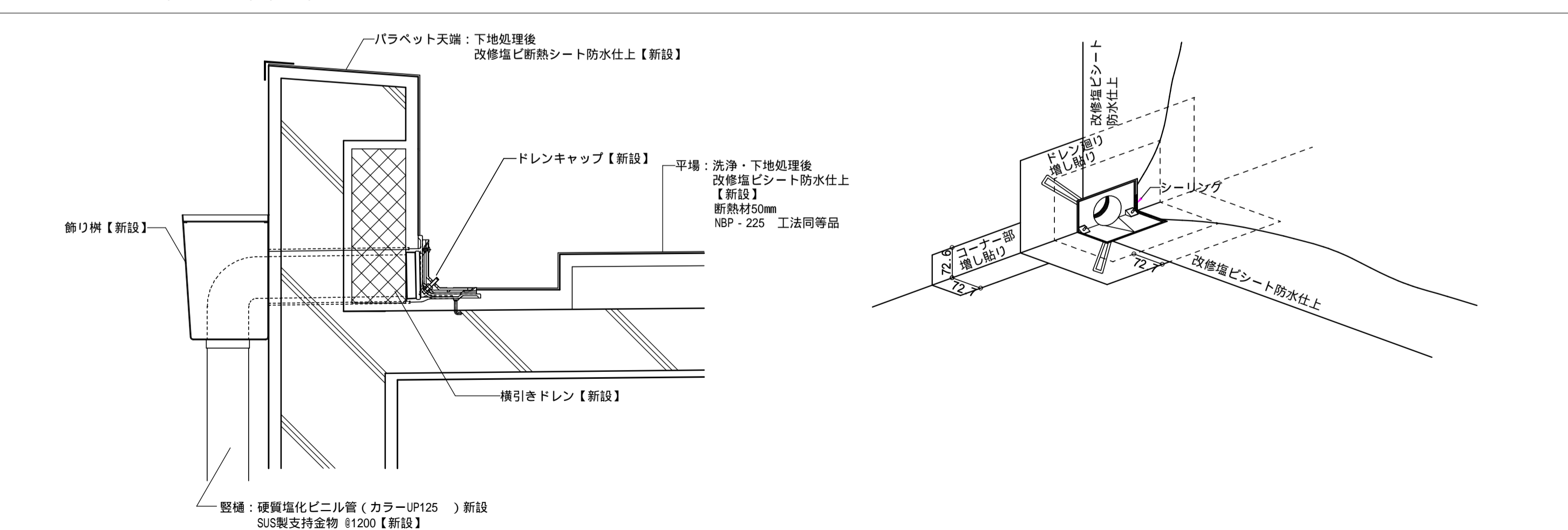
D-7 煙突部防水詳細図

S=1:10



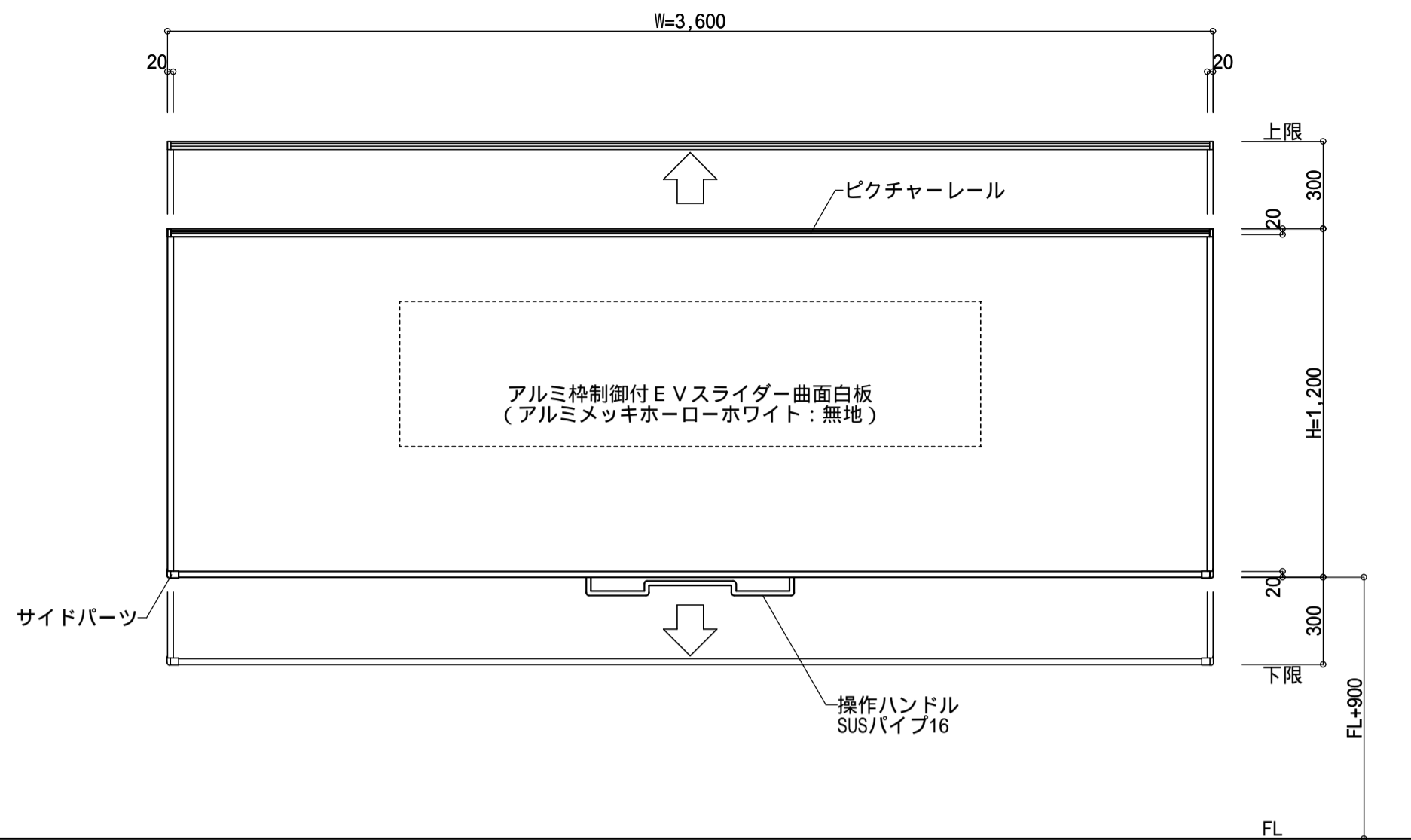
ドレン廻り部分詳細図(標準参考図)(改修)

S=1:10



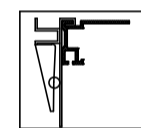
1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/5000	1/7500	1/10000
-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(01A)第02439号 二級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也		設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	令和 年 月	欄				西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)	普通教室棟 屋上防水詳細図(改修)	A2 1/10 A3 -	A-20

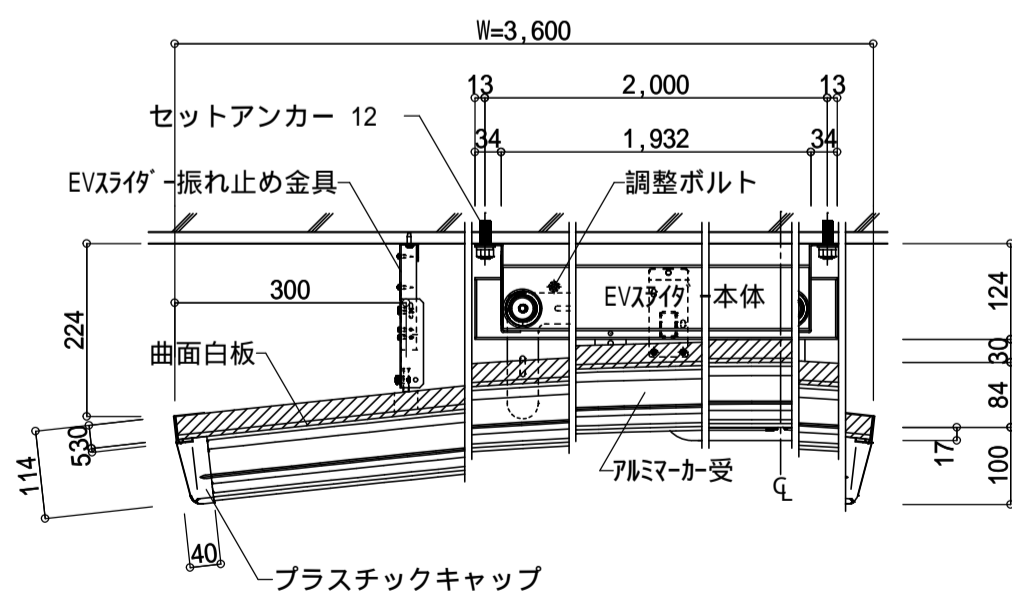


正面図 1/20

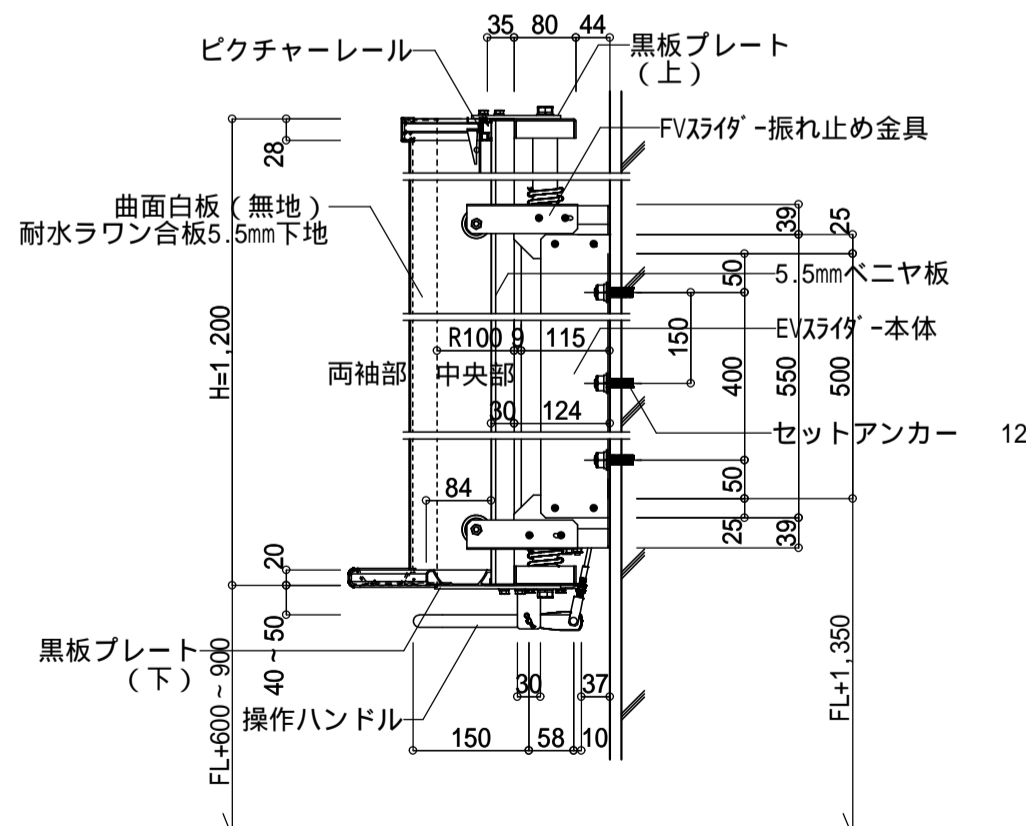
階数	室名	寸法	数量
1F	女子更衣室	3600x1200	1
	学習室1	"	1
	普通教室(1-1)	"	1
	普通教室(1-2)	"	1
	普通教室(1-3)	"	1
	学習室2	"	1
	合計		6



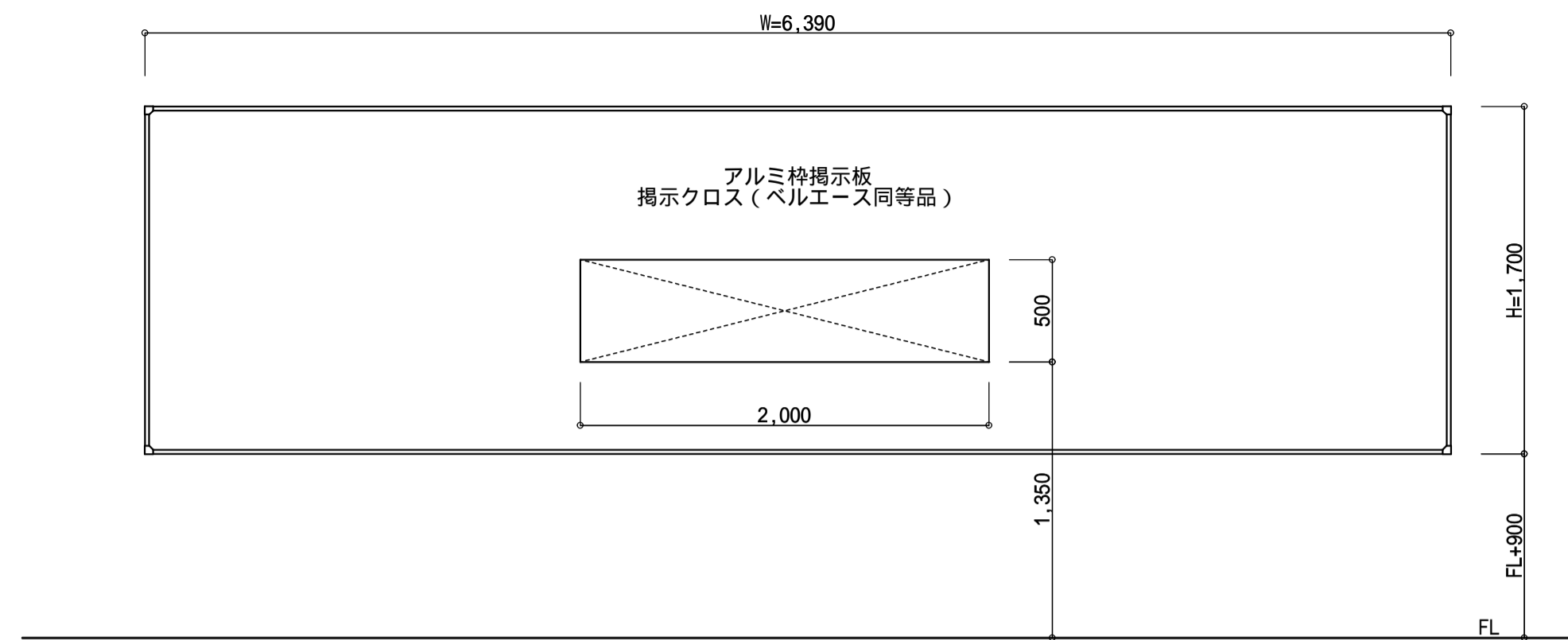
ピクチャーレール（フック付）



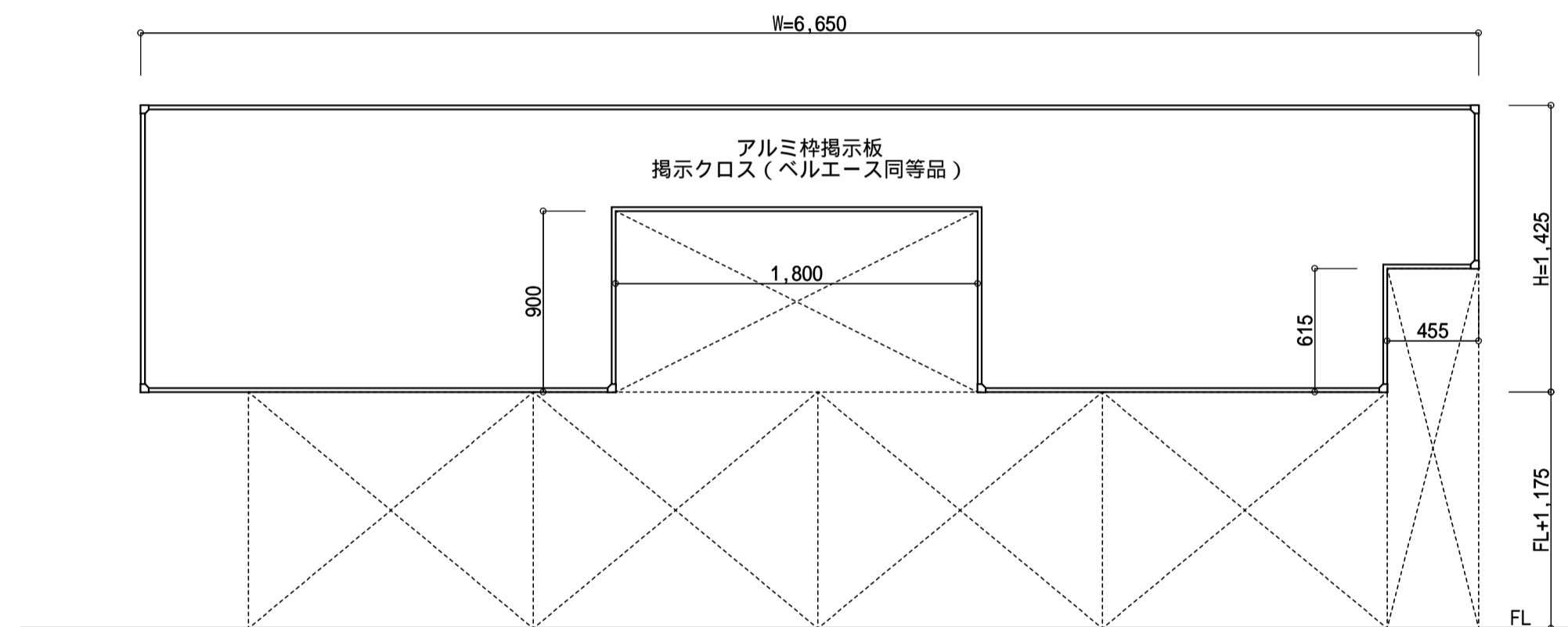
平面断面図 1/10



縦断面図 1/10

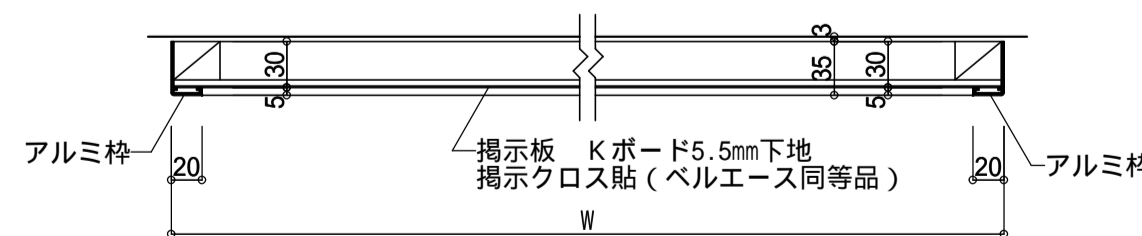


正面図 1/30

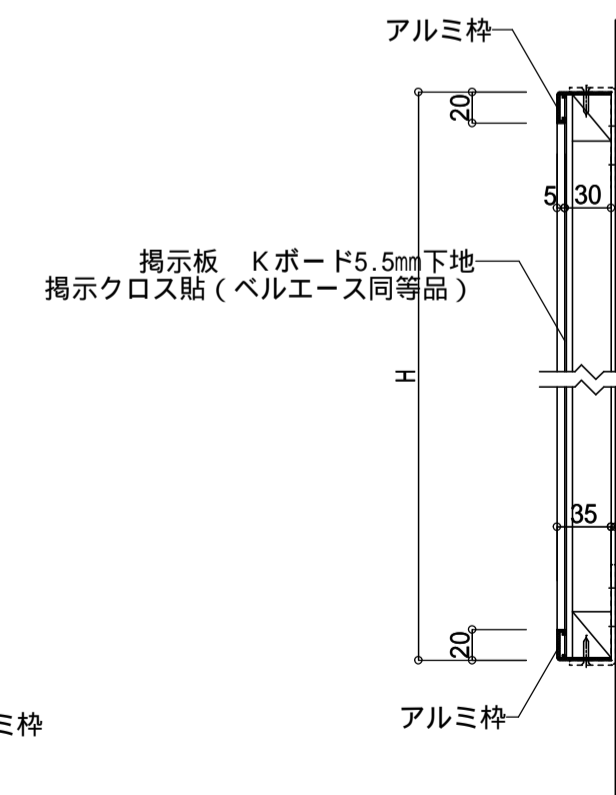


背面図 1/30

階数	室名	寸法	数量	寸法	数量
1F	女子更衣室	6390x1700	1	6650x1425	1
	学習室1	"	1	"	1
	普通教室(1-1)	"	1	"	1
	普通教室(1-2)	"	1	"	1
	普通教室(1-3)	"	1	"	1
	学習室2	"	1	"	1
	合計		6	合計	6



平面断面図 1/5

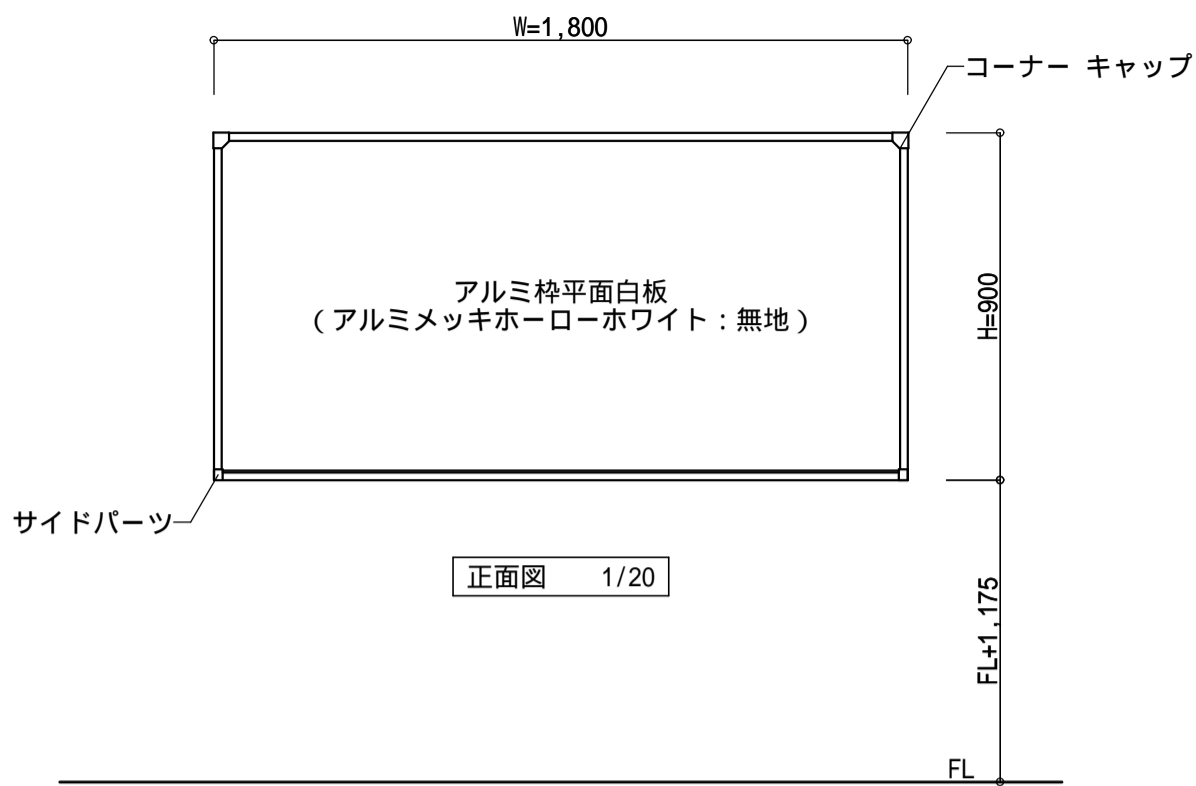


縦断面図 1/5

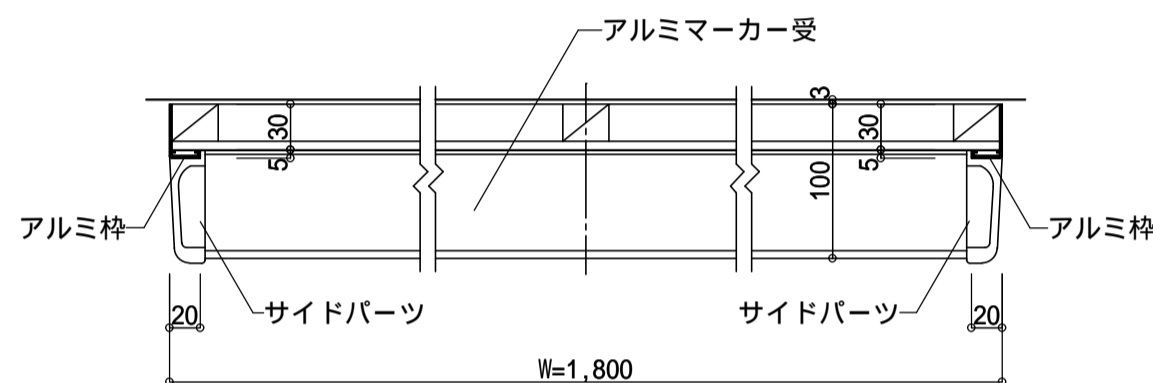
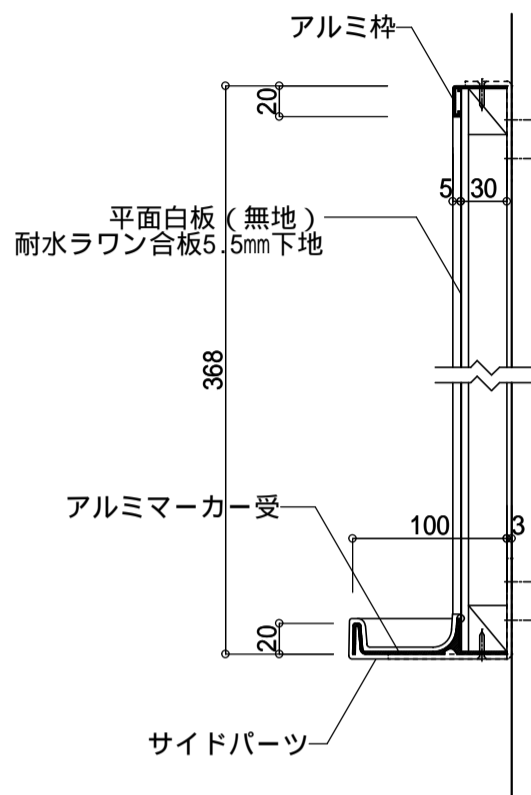
1/100	1/300	1/500	1/250
-------	-------	-------	-------

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(01A)第02439号 二級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	
設計番号	設計年度
	令和 年 月

設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	載				西宇治中学校施設長寿命化改修工事（その4）	普通教室棟 部分詳細図（1）	A2 1/20 A3 -	A - 21



階数	室名	寸法	数量
1F	女子更衣室	1800x900	1
	学習室1	"	1
	普通教室(1-1)	"	1
	普通教室(1-2)	"	1
	普通教室(1-3)	"	1
	学習室2	"	1
	合計		6

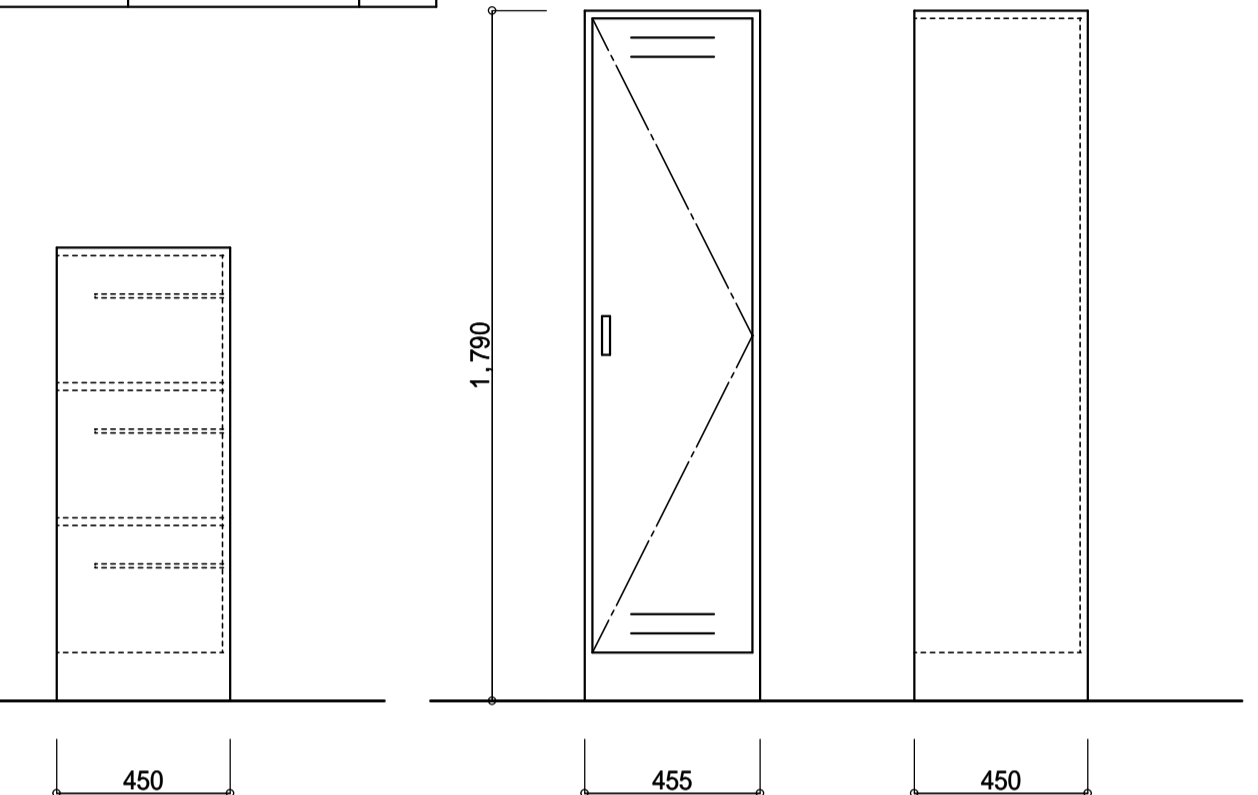
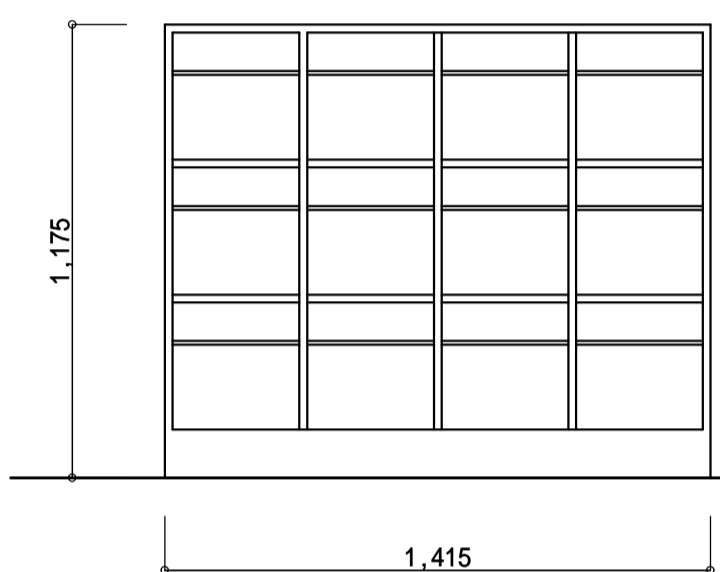


スチール製ロッカー

階数	室名	寸法	数量
1F	女子更衣室	1415x450x1175	4
	学習室1	"	4
	普通教室(1-1)	"	4
	普通教室(1-2)	"	4
	普通教室(1-3)	"	4
	学習室2	"	4
	合計		24

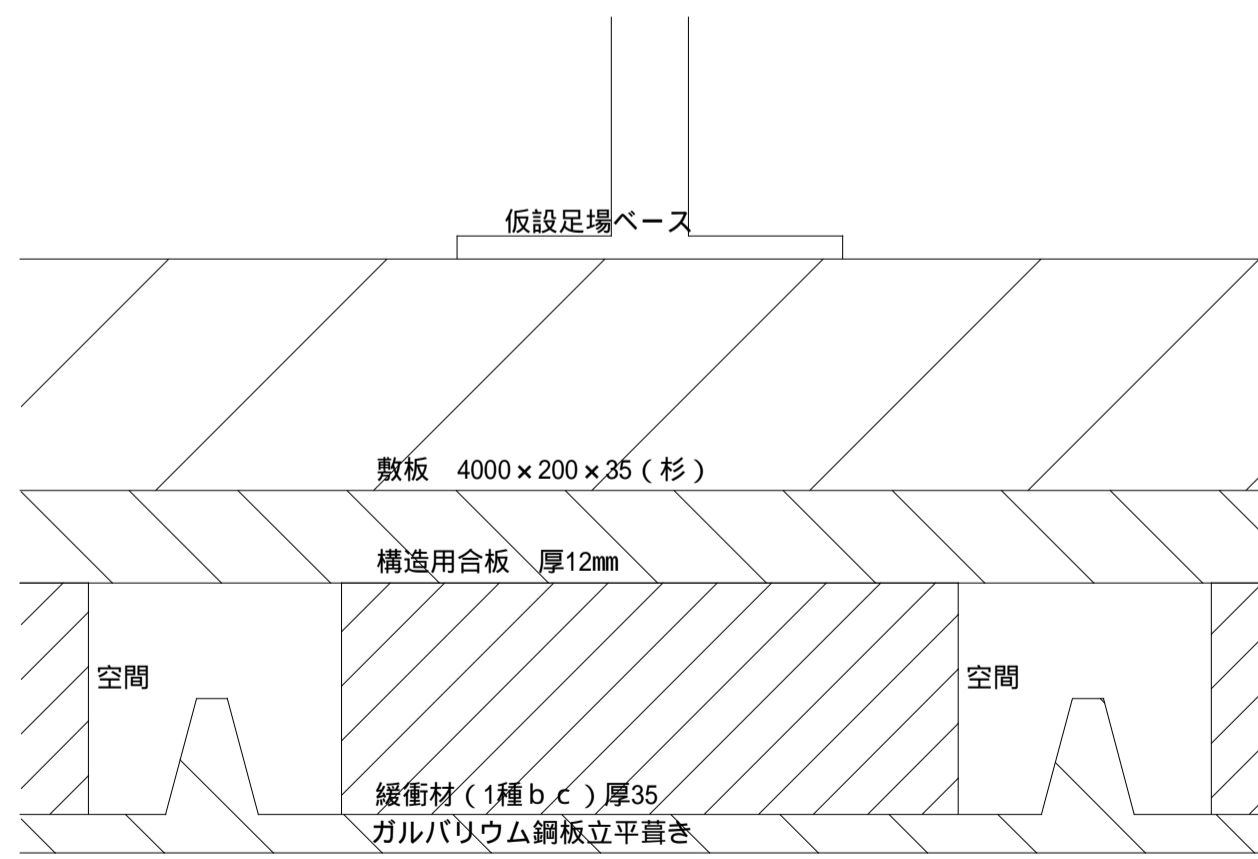
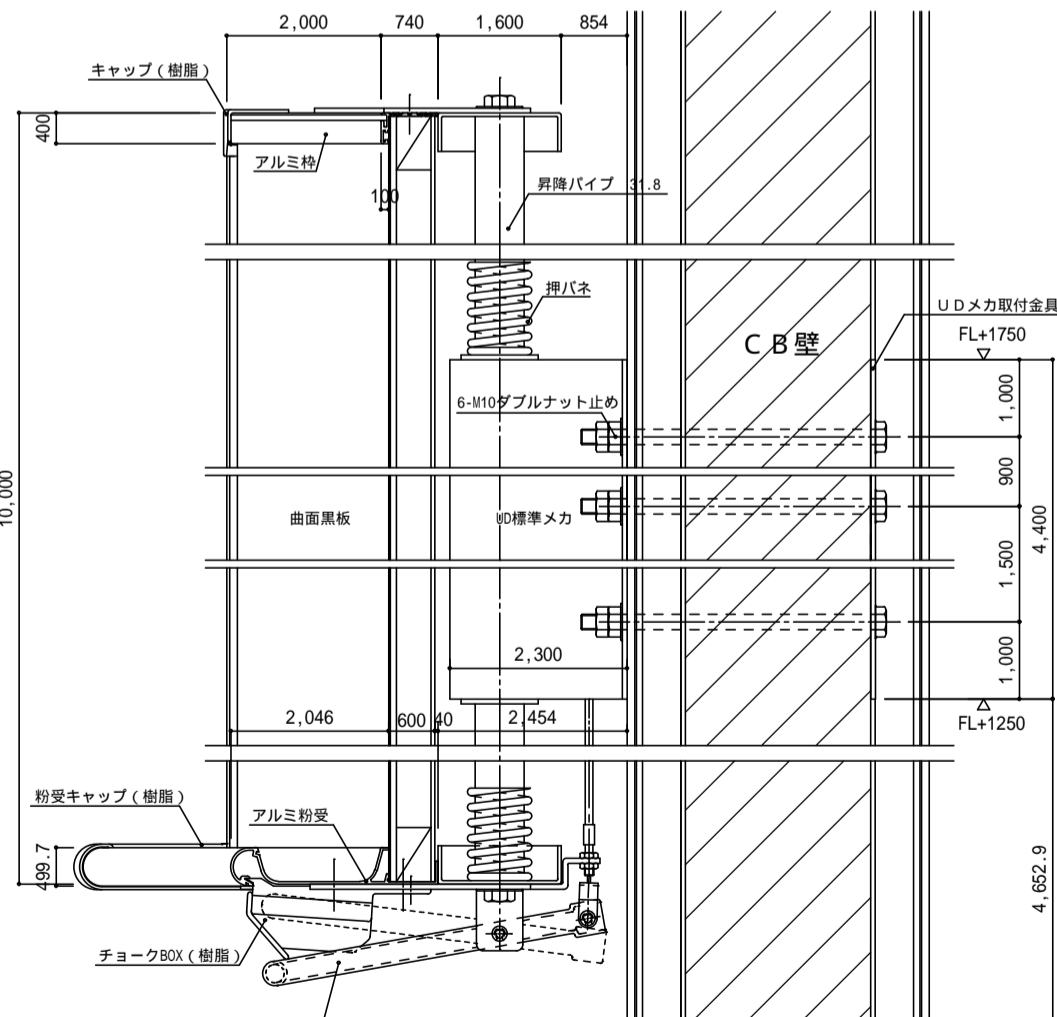
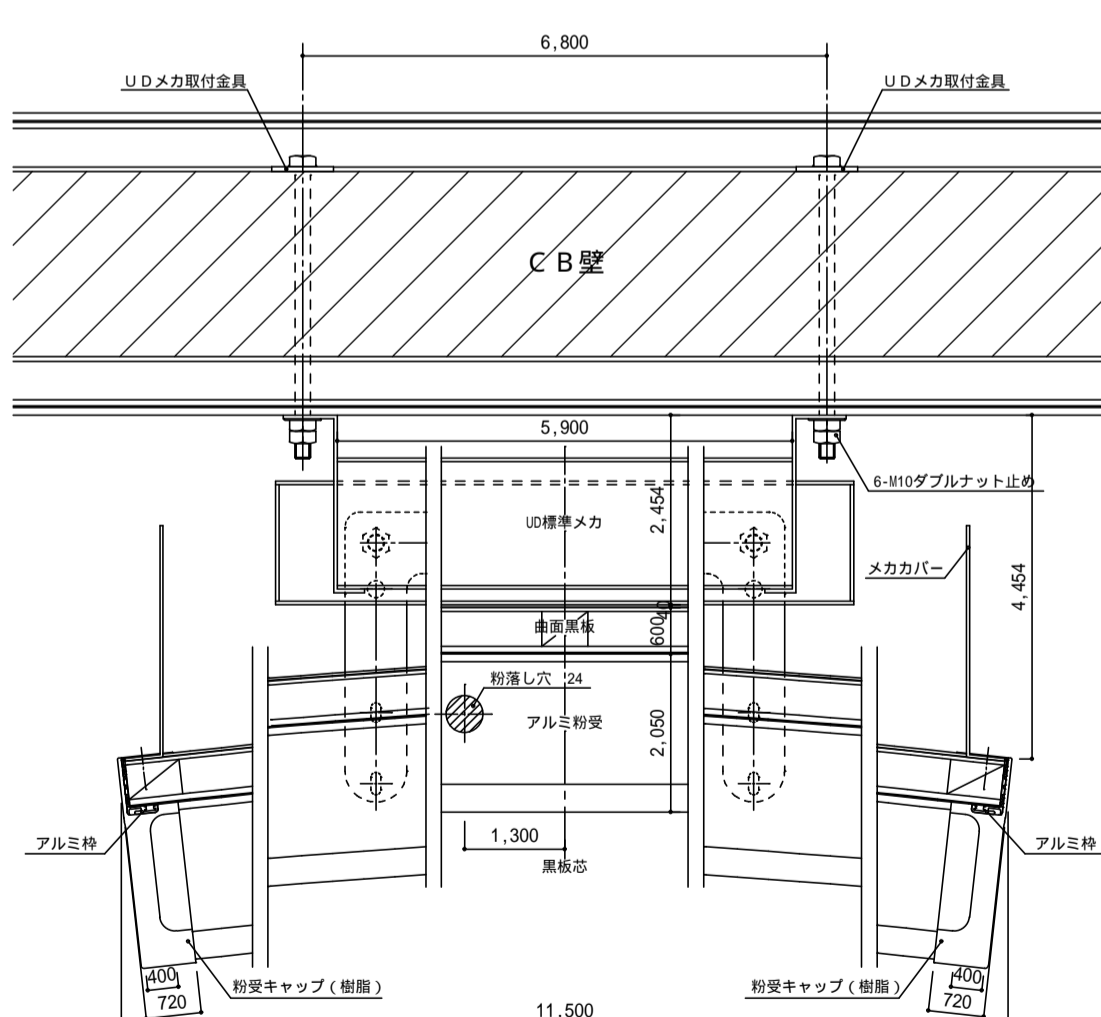
スチール製掃除用具入れ

階数	室名	寸法	数量
1F	女子更衣室	455x450x1790	1
	学習室1	"	1
	普通教室(1-1)	"	1
	普通教室(1-2)	"	1
	普通教室(1-3)	"	1
	学習室2	"	1
合計		6	



学習室2 アルミ枠制御付E Vスライダー曲面白板 (アルミメッキホーローホワイト: 無地) 取付図

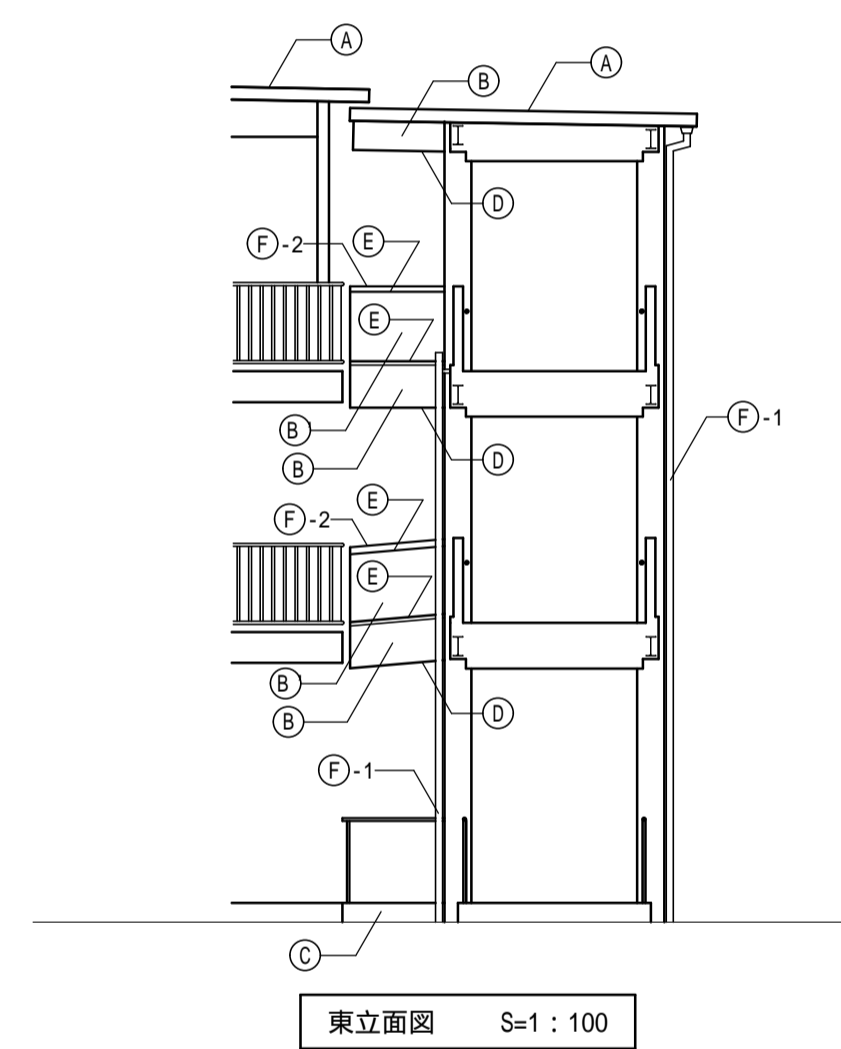
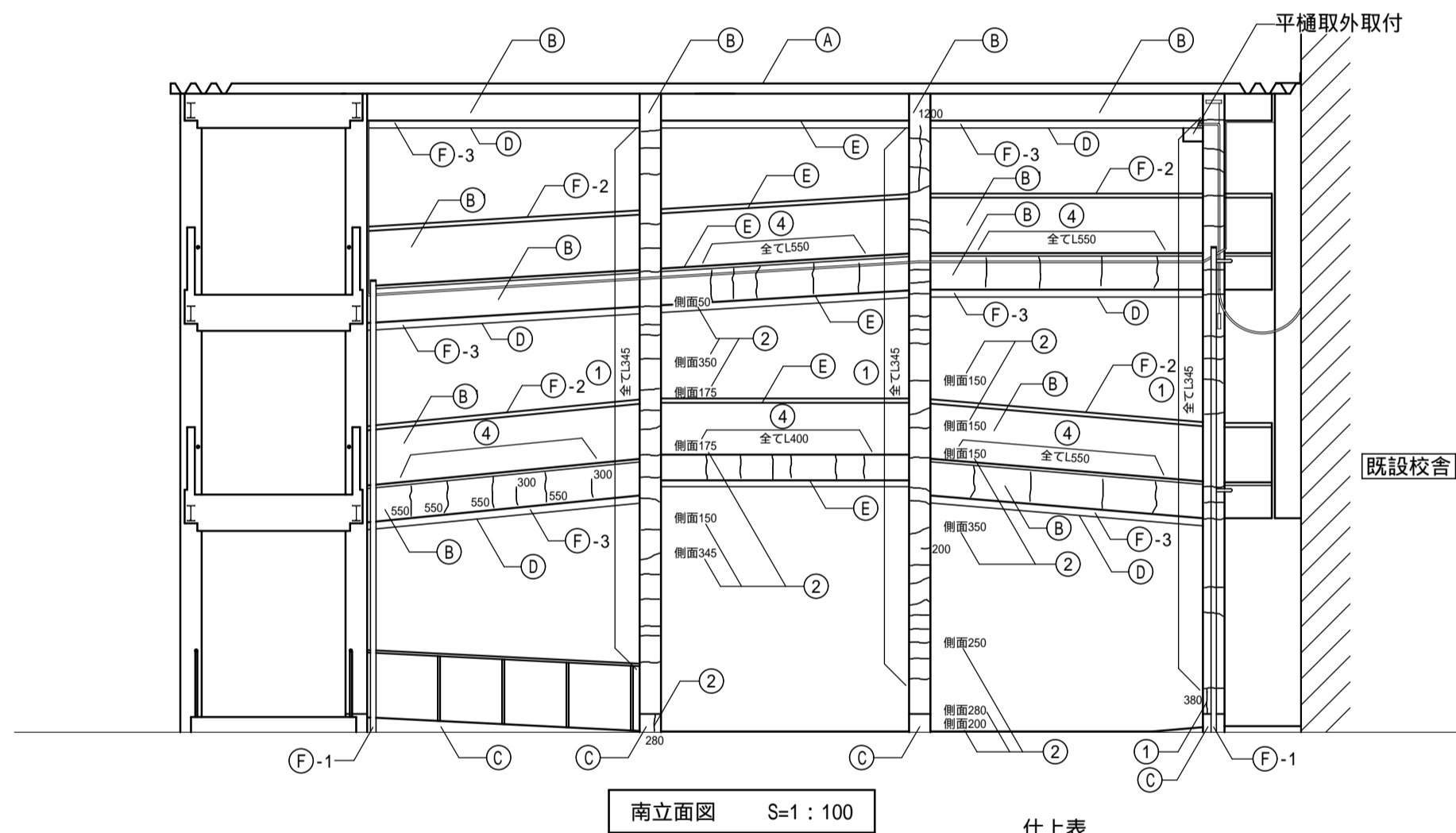
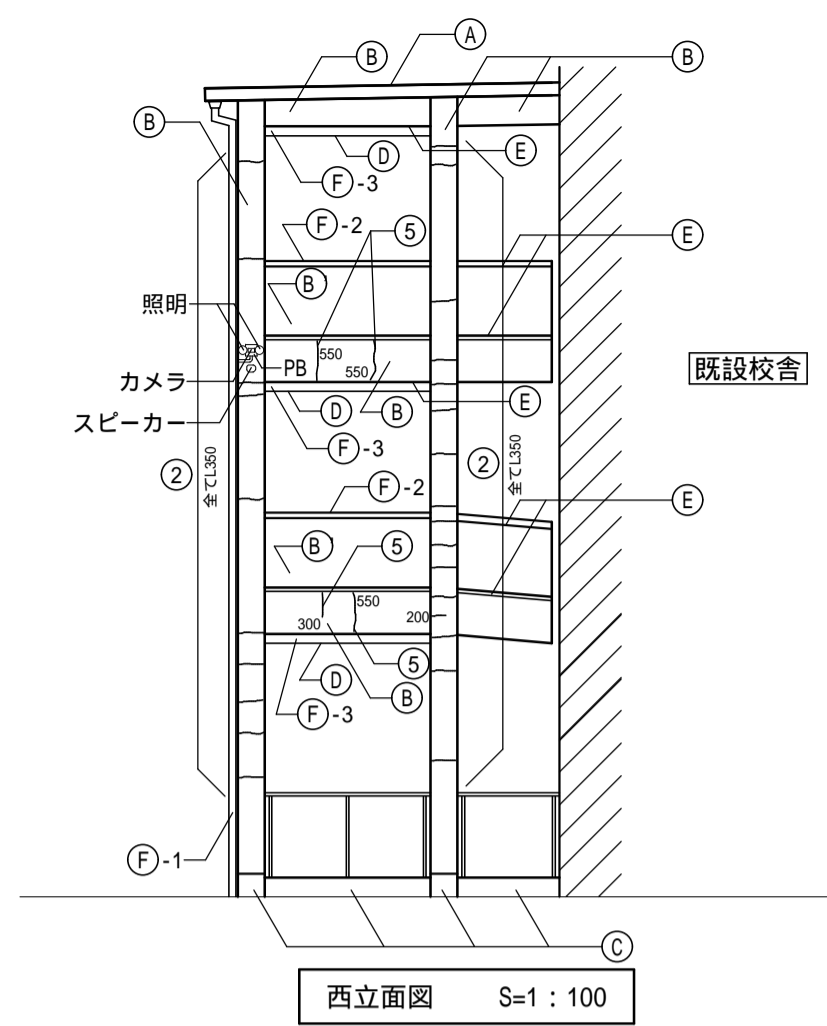
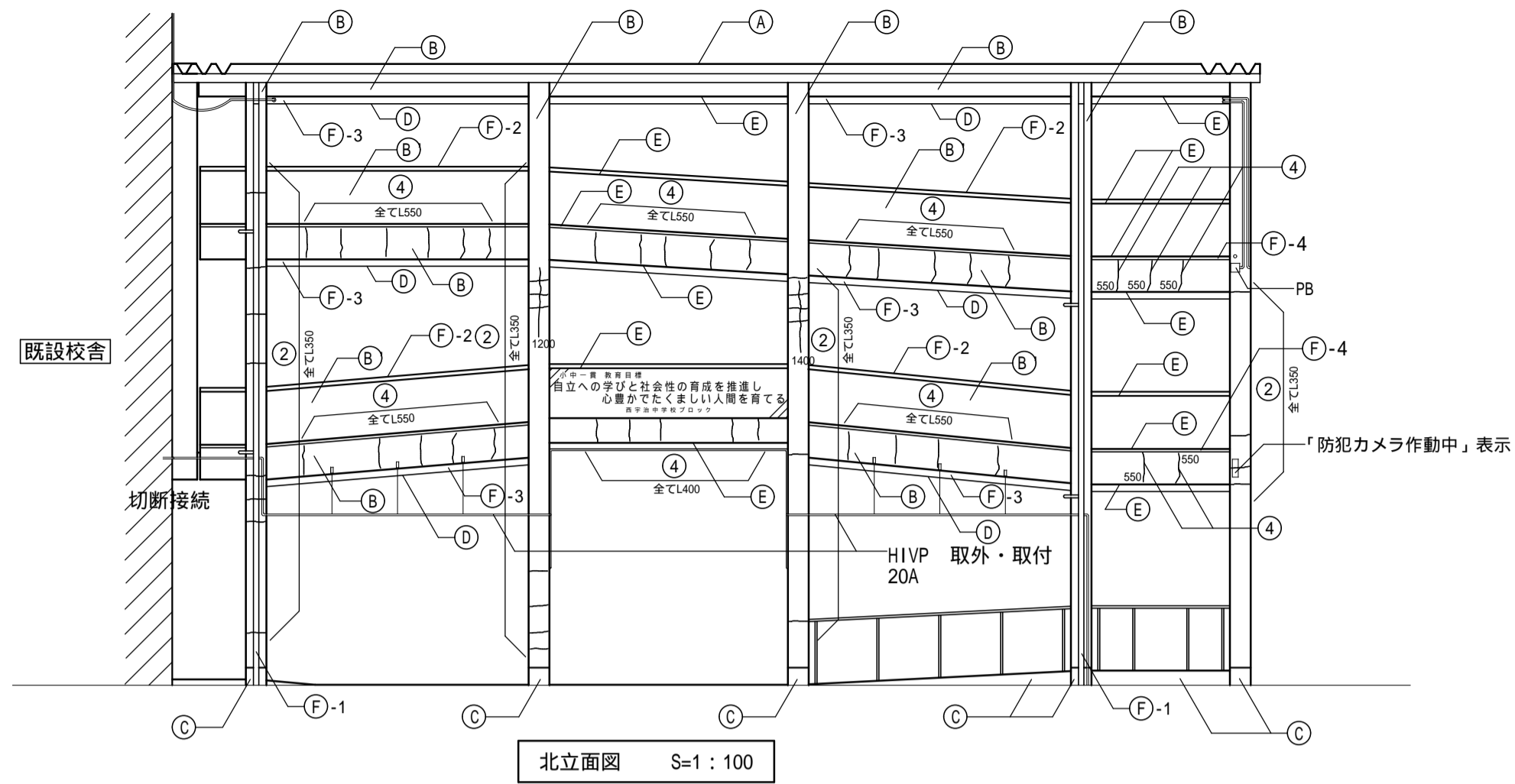
配膳室屋根養生断面図



1/100 1/300 1/5 1/10 1/15 1/20 1/25 1/30 1/40 1/50 1/60 1/70 1/80 1/90 1/100 1/120 1/150 1/200 1/250 1/300 1/400 1/500 1/600 1/700 1/800 1/900 1/1000 1/1200 1/1500 1/2000 1/2500 1/3000 1/4000 1/5000 1/6000 1/7000 1/8000 1/9000 1/10000

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也				設計	決	課長	係長	係	工事名
設計番号	設計年度	令和	年	月	欄				西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)

図名	縮尺	図番
普通教室棟 部分詳細図(2)	A2 1/20 A3 -	A-22



仕上表

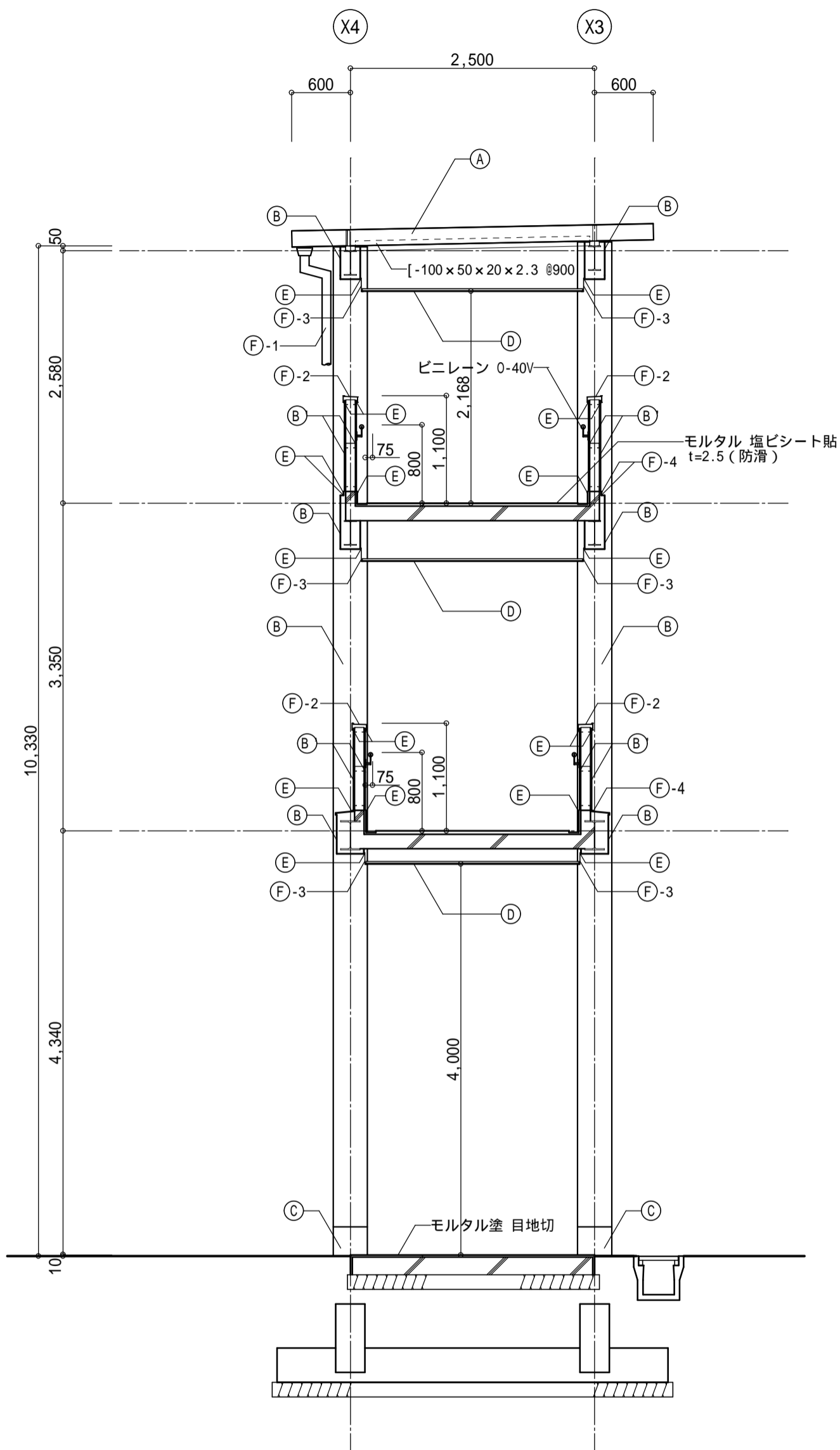
(A)	現況	塩ビ樹脂鋼板 折板 H=165 t=0.8 (タイトフレーム, 軒先フレーム, 軒先面戸共)	
	改修	塗替え: DP (1級)	
(B)	現況	モルタル塗 t=40 吹付タイル仕上 (B)不燃サイディングボード張 t=12)	
	改修	高圧洗浄、下地処理後 可とう形改修塗材RE フッ素系 (B)サイディング高圧洗浄・下地処理後 EP塗り)	
(C)	現況	巾木: モルタル塗	
	改修	高圧洗浄	
(D)	現況	フレキシブルボード貼 t=5.0 EP	
	改修	塗替え: EP (破損部: フレキシブルボード貼補修 t=5.0 EP)	
(E)	現況	シーリング: 取合い部	
	改修	打替え: 変成シリコーン系 (MS-2)	
(F)	現況	1 縦樋: 鋼管 90 OP 鋼製支持金物 @1200	4 水切り
		2 笠木: アルミ製 W=150	
		3 カラーアルミ t=1.0	
	改修	塗替え: DP (1級)	

外壁補修

記号	劣化種別	数量
①	クラック W=0.15 L=立面図へ記載	24.55m
②	クラック W=0.20 "	23.18m
③	クラック W=0.25 L=3階平面図へ記載	0.60m
④	クラック W=0.30 L=立面図へ記載	30.85m
⑤	クラック W=0.3 "	1.95m

外壁劣化改修工程

- (1) 高圧水洗、清掃
- (2) 各補修範囲の確認 (調査報告書作成)
- (3) 各部補修
 - (A)クラック補修
 1. Uカット (溝内清掃共)
 2. プライマー塗布
 3. シーリング材充填
 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上



仕上表

A	現況	塩ビ樹脂鋼板 折板 H=165 t=0.8 (タイトフレーム, 軒先フレーム, 軒先面戸共)			
	改修	塗替え: DP (1級)			
B	現況	モルタル塗 t=40 吹付タイル仕上 (B)不燃サイディングボード張 t=12)			
	改修	高压洗浄、下地処理後 可とう形改修塗材 RE フッ素系 (B)サイディング清掃)			
C	現況	巾木: モルタル塗			
	改修	高压洗浄			
D	現況	フレキシブルボード貼 t=5.0 EP			
	改修	塗替え: EP (破損部: フレキシブルボード貼補修 t=5.0 EP)			
E	現況	シーリング: 取合い部			
	改修	打替え: 変成シリコン系 (MS-2)			
F	現況	1	縦樋: 鋼管 90 OP 鋼製支持金物 @1200	4	水切り
		2	笠木: アルミ製 W=150		
		3	カラーアルミ t=1.0		
	改修	塗替え: DP (1級)			

矩計図 S=1:50

特記	
----	--

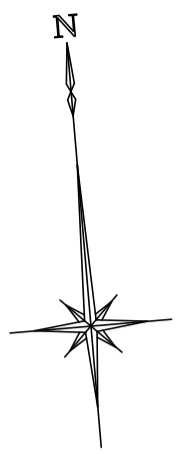
株式会社 山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(01A)第02439号 二級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	
設計番号	設計年度
	令和 年 月

設計	決	課長	係長	係
	載			
	欄			

工事名	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)
-----	-----------------------

図名	渡り廊下 矩計図
縮尺	A2 1/50 A3 -

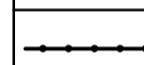
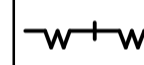


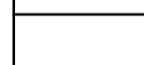
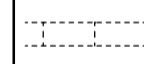
図番	A - 25
----	--------



凡例

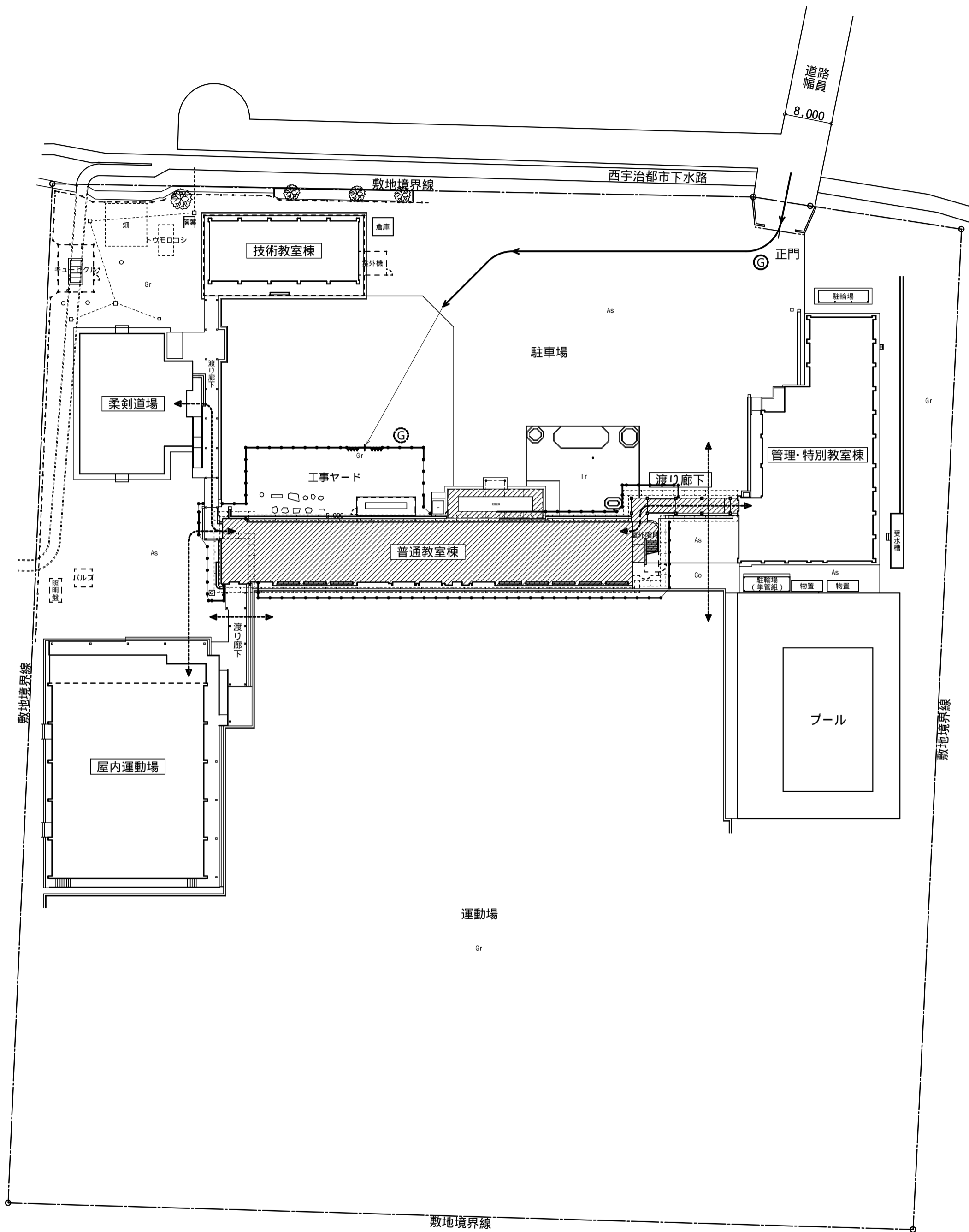
 今回工事建物を示す

仮設凡例

	フェンスバリケード H=1800 + 上部養生シート張
	キャスターゲート W=6000 1か所
	工事用車両等経路
	交通誘導員 (1名常駐・適宜移動)
	学校利用者経路
	手すり先行型枠組本足場 建地幅1200 + 養生シート張

注意事項

- 本仮設計画図は基本方針を示したもので、これを参考として請負業者において構造及び施工方法を十分検討の上、関係法令に従い安全に設置すること。
- 本工事は、工事期間中も学校利用があるため、事前に監督員及び学校側と打合せを行い、工程表を作成し提出のうえ日程調整を行うと共に、敷地内の車両通行、安全管理及び騒音対策に万全を期すること。
- 車両進入口には交通誘導員を配備させると共に、周辺住人や生徒等の安全確保のため、必要に応じて適宜移動又は臨時に配備を行うこと。
- 学校周辺において、一般車両及び周辺住人の通行に配慮し、事故等起こさないよう十分に注意すること。
- 工事範囲及び工事用車両進入経路にある門扉、側溝、会所、マンホール、舗装面において、工事用車両の通行により損傷しないよう十分に養生を行うこと。
- 工事完了に際して、工事期間中に使用した敷地は清掃、整地を十分に行い、損傷のある部分は補修を行うこと。



仮設計画図 1/600

1/100	1/300	1/500	1/1000	1/2000	1/3000	1/5000	1/10000
-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	---------

株式会社 山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也

設計	決	課長	係長	係
載	欄			

工事名
 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その4)

図名
 仮設計画図(参考図)

縮尺	図番
A2 1/600	A - 26
A3 -	